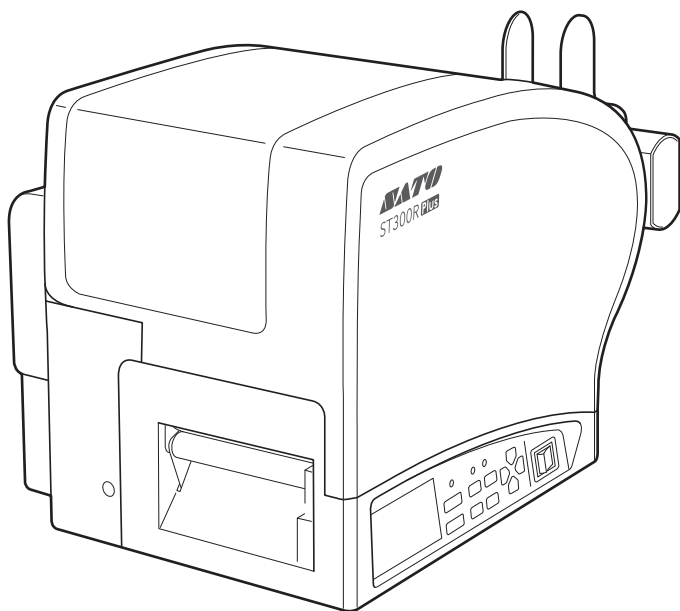




取扱説明書

バーコードプリンタ

ST300R **Plus** シリーズ



はじめに

このたびは、当社バーコードプリンタ SATOC ST300R Plus シリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。本書は、はじめて ST300R Plus シリーズをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。

本書をよくお読みいただき、ST300R Plus シリーズの機能を理解し、正しくお使いください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店・ディーラーへご連絡ください。
4. 本書に記載されている情報の利用に起因する損害または特許権その他の侵害に関しては、当社は一切その責任を負いません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

目次

安全上のご注意	4
設置および取り扱い上の注意	8
付属品の確認	10
1. 各部の名称	11
ヘッド圧の調整	14
2. 電源を入れてみましょう	15
電源コードを接続する	15
インタフェースケーブルを接続する	16
簡易入力装置 Key-Bo を接続する	16
SOS+BOX を接続する	17
電源を入れてみる	18
電源を切る	19
3. リボンのセット	20
リボンのセット	20
リボンの取り外し	23
4. 用紙の種類	24
5. 用紙のセット	26
用紙のセット	26
自動給紙機能	30
用紙無駄なし機能	30
オプション装着時のセット	31
スタッカ装着時のセット	31
巻取機（RWS300）装着時のセット	37
6. インタフェースボードの設定	41
インタフェースボードの取り外し	41
RS-232C インタフェースボードの設定	43
LAN インタフェースボードの設定	44
7. 動かしてみましょう	45
操作パネル部	45
操作の流れ	46
詳しい説明	47
オンライン操作	47
オフライン操作	47
発行中の印字データキャンセル操作	48

調整モード操作	48
プリンタ設定操作	49
エラー状態操作	49
設定モードメニュー	50
プリンタ設定	52
通信設定	56
SEMBL モード	70
拡張設定	71
HEX ダンプ印字	78
テスト印字モード	79
初期化設定モード	82
初期設定値一覧	84
ディスプレイ遷移図	86
 8. あれ？どうしたのかな？	 100
警告メッセージ	100
エラーメッセージ	101
こんなときは？	104
 9. お手入れ	 108
お手入れの時期	108
お手入れのときの注意	108
お手入れのしかた	109
消耗品	114
 10. 基本仕様	 115
 11. 保証と保守	 120
保守サポート	120
保証規定	120
製品保証期間における消耗部品の保証について	120

安全上のご注意

この取扱説明書では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

表示の例



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。



 警告	
	不安定な場所に置かない ぐらついた台の上や傾いた場所、振動のある場所などに置かないでください。本製品が落ちたり倒れたりして、ケガをするおそれがあります。
  	水などの入った容器を置かない 本製品の周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器を置かないでください。万一、水や薬品が中に入った場合は、すぐに電源を切り、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
  	内部に異物を入れない 本製品の開口部（ケーブルの出口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・発火・発熱・感電の原因になります。
	指定以外の電圧は使用しない 指定された電源電圧以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。
  	必ずアース線を接続する アース線は必ずアースに接続してください。接続しないと感電のおそれがあります。また、ノイズが混入することにより、本製品の動作に影響を与える原因になります。
  	電源コードやケーブルの取り扱い - 電源コードやケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、高温になる場所に置いたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因になります。 - 電源コードやケーブルに水をかけたり、濡らしたりしないでください。故障・感電の原因になります。 - 電源コードやケーブルが傷んだら（芯線の露出・断線・変形など）、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 - 同梱品の電源コードは本製品専用です。他の電気製品に使用しないでください。また、本製品に他の電源コードを使用しないでください。火災・感電の原因になります。
  	落下・破損した場合は 本製品を落下させたり破損したりした場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 警告	
 	異常な状態で使用しない ・ 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま本製品を使用しないでください。火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクに修理をご依頼ください。
 	分解しない ・ 本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご依頼ください。
	カッタに手やものを入れない ・ カッタの刃に触れたり、用紙以外の異物を入れたりしないでください。ケガをするおそれがあります。
 	プリンタ清掃液の取り扱い ・ 同梱品または推奨以外のプリンタ清掃液を使用しないでください。 ・ プリンタ清掃液は、火気厳禁です。絶対に加熱したり、火の中に投入したりしないでください。 ・ お子様が間違っって飲み込まないように手の届かない場所に保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
  	ケーブルやオプション機器の接続について ・ ケーブルやオプション機器を接続するときは、必ず各機器の電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガ・感電・故障の原因になります。 ・ ケーブルやオプション機器を取り付けるときは、取り付ける向きや手順を間違えないでください。ケガ・火災・感電・故障の原因になります。 ・ 同梱品または推奨品以外のケーブルを使用しないでください。発煙・火災・感電・故障の原因になります。
  	水中に落下させない ・ 本製品を水の入った容器の周辺で使用しないでください。万一、水中に落下した場合は、すぐに電源を切り、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 注意	
	湿度が高い場所に置かない 本製品を湿度の高い場所や結露する場所に置かないでください。結露した場合は、すぐに電源を切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。
  	持ち運び - 用紙や外付けのオプション機器をセットしたまま、本製品を持ち運ばないでください。用紙やオプション機器が落ちてケガをするおそれがあります。 - 本製品を床や台の上などに置くときは、指や手を挟まないように注意してください。 - 本製品を移動するときは、必ず電源を切ってから電源コードのプラグをコンセントから抜き、接続したケーブルを外してください。そのまま移動すると、電源コードやケーブルが傷ついて火災・感電・故障の原因になります。
  	電源コード・ケーブル - 電源コードやケーブルをコンセントやコネクタから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードやケーブルを持って抜くと芯線が露出したり断線したりして、火災・感電・故障の原因になります。 - 電源コードやケーブルに熱器具を近付けないでください。電源コードやケーブルの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因になります。
 	サーマルヘッド - 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃をするときは、火傷をしないように注意してください。 - サーマルヘッドを素手で触らないでください。ケガ・故障の原因になります。 - サーマルヘッドを開閉するときは、用紙以外の異物を挟まないように注意してください。ケガ・故障の原因になります。
	カバー カバーを開閉するときは、指を挟まないように注意してください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持ってください。
 	カバーを閉じて使用する 必ずカバーを閉じて使用してください。動いている部位に触れると、ケガをするおそれがあります。また、ホコリや異物が内部に入り込み、本製品の故障の原因になります。
	長期間使用しないとき 本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れ・清掃のとき 本製品のお手入れや清掃をするときは、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

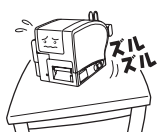
設置および取り扱い上の注意

次のことに注意して、本製品の設置・取り扱いをおこなってください。

設置場所について

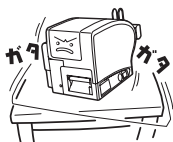
次のことに注意して、本製品を設置してください。

水平な場所に置いてください。



凸凹があったり斜めになっている場所に設置すると、きれいな印字ができません。故障の原因になり、本製品の寿命を短くするおそれがあります。

振動のある場所に置かないでください。



振動のある場所に設置するとききれいな印字ができないことがあります。ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。故障の原因になり、本製品の寿命を短くするおそれがあります。

高温になる場所に置かない。



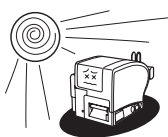
本製品を発熱するもの（加熱調理器具やストーブなど）のそばなど、高温になる場所に置かないでください。本製品が破損し、火災・感電の原因になります。

ほこりを避けて使用してください。



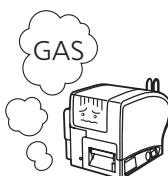
ほこりの多い場所に設置すると、きれいな印字ができないことがあります。故障の原因になり、本製品の寿命を短くするおそれがあります。

直射日光の当たる場所を避けて使用してください。



本製品は光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤動作を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。

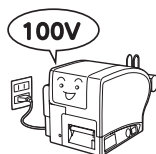
危険な場所で使用しない。



本製品は防爆認定機器ではありません。爆発性雰囲気では使用しないでください。引火・爆発の危険があります。

電源について

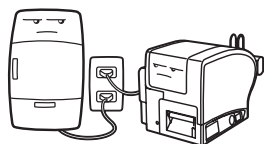
本製品は、AC100V の交流電源が必要です。



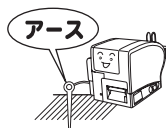
必ず AC100V の交流電源につないでください。本製品の誤動作や故障のおそれがあります。

電源の低下などの変動が少ないコンセントから電源を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じコンセントや、その近くのコンセントから電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。



必ずアース線を接続してください。



アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。

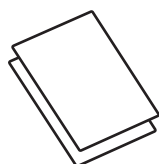
付属品の確認

箱を開けたら、次の付属品がそろっているか確認してください。

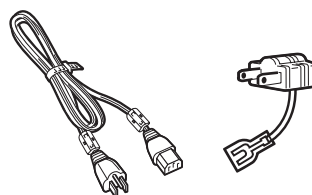
もし、足りないものがありましたら、購入した販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



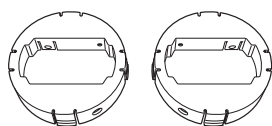
保証書



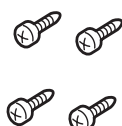
メンテナンス案内書



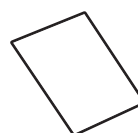
電源コードと
3 極 -2 極変換アダプタ



ボス (4 インチ
コア用アダプタ) 2 個



ネジ (ボス固定用) 4 本

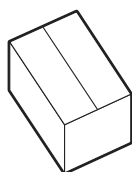


プリンタ清掃シート

保証書と梱包箱について



本製品は、正常なご使用のもとにおける故障については、納入から 6 か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、付属の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。



また、本製品を梱包していた箱と緩衝材（プリンタ押えのクッション）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本製品を梱包して送っていただきます。

1. 各部の名称

カバー

用紙・リボンなどをセットする際に開閉します。



ロール紙供給部

ロール紙をセットします。

電源スイッチ

電源を ON / OFF します。

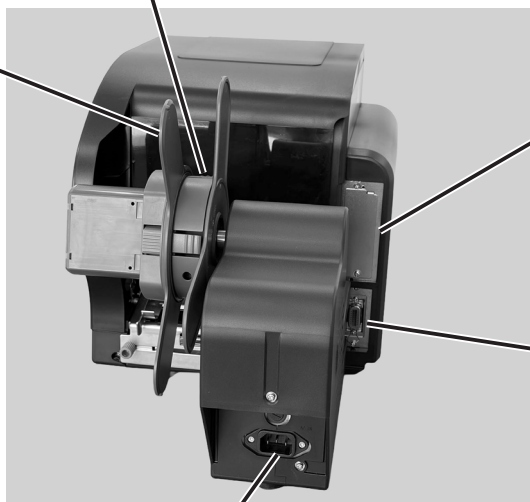
操作パネル

プリンタを操作します。ディスプレイ、LED (3 個)、キー (10 個) からなります。

ボス (4 インチコア用アダプタ)

付属品として同梱されています。

ロール紙押さえ



インタフェーススロット

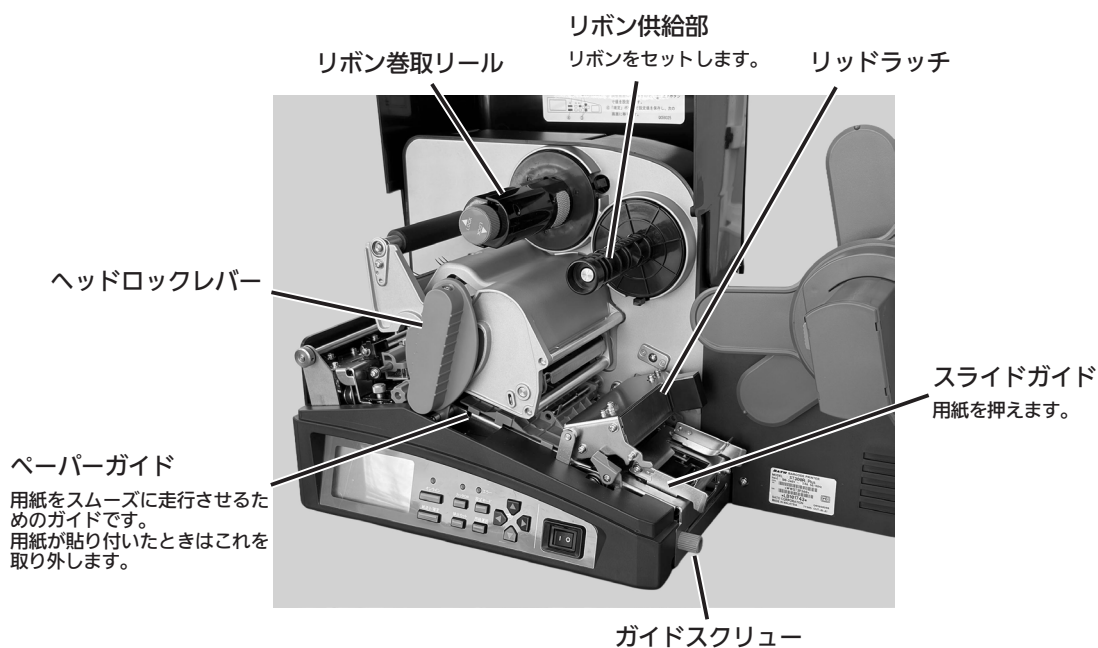
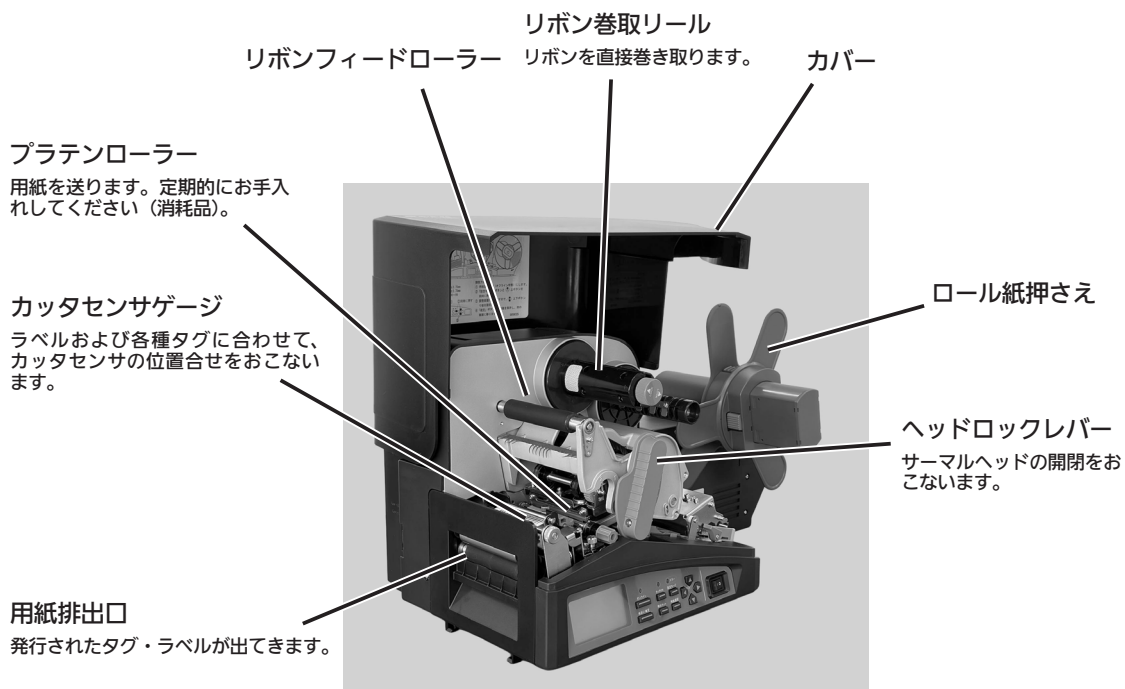
オプションのインタフェーススロットです。コンピュータなどに接続するとき 사용합니다。

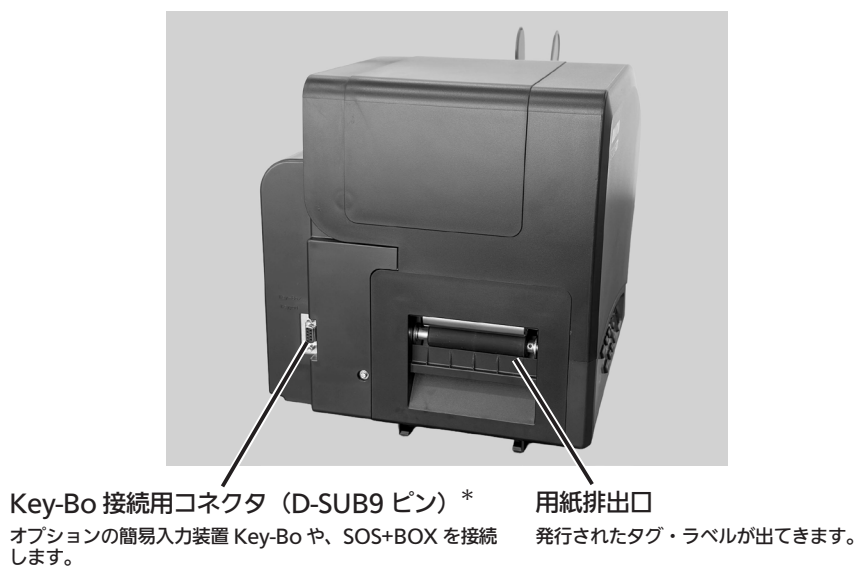
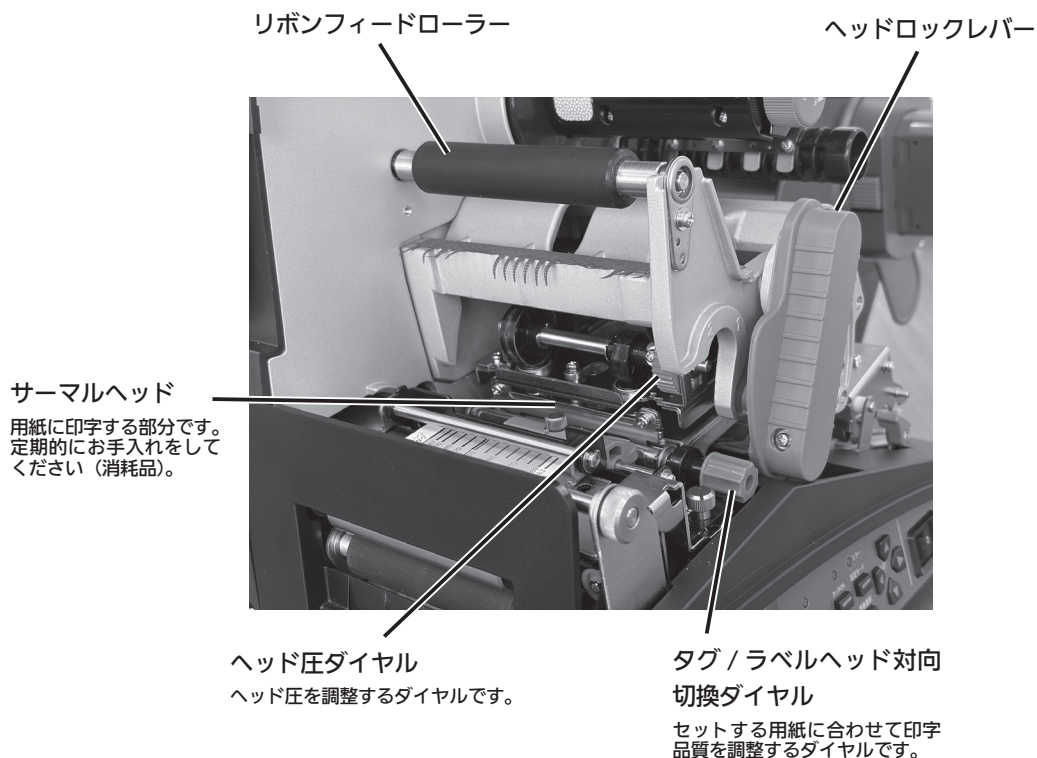
EXT コネクタ端子

外部信号インタフェースコネクタです。

AC 入力電源端子

電源ケーブルを接続します。





＊ 簡易入力装置 Key-Bo や SOS+BOX 専用となります。コンピュータなどとの RS-232C 通信はできませんので、Key-Bo と SOS+BOX 以外は絶対に接続しないでください。

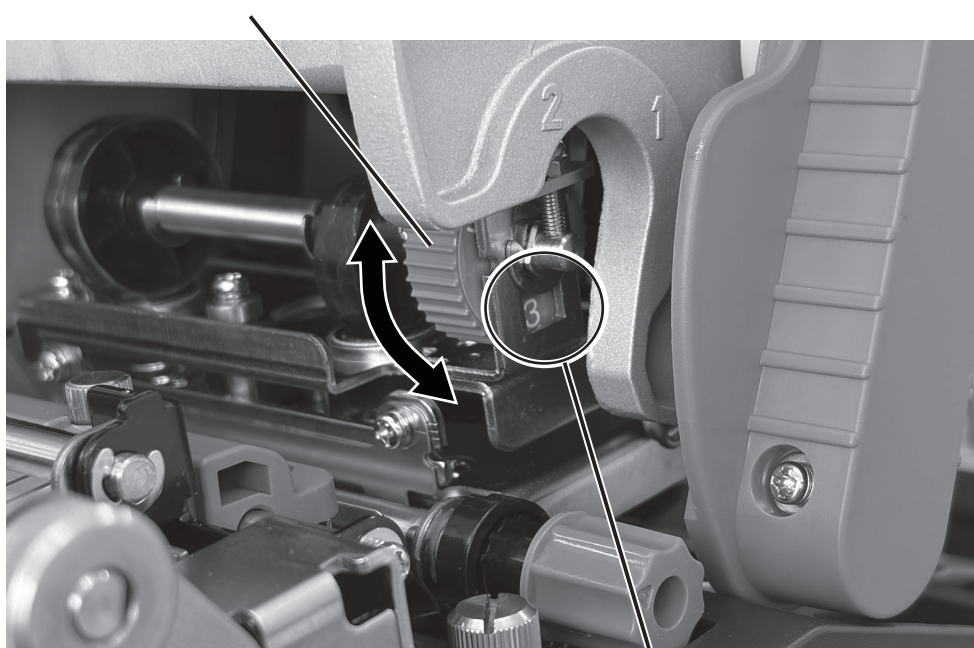
ヘッド圧の調整

本製品は基本的に無調整できれいに印字されるように調整していますが、使用される用紙の幅によってはきれいに印字されない場合があります。

その場合は以下の表を参考に、用紙幅に合わせて、サーマルヘッドを開いた状態でヘッド圧ダイヤルを回してヘッド圧を調整してください。

ヘッド圧ダイヤルの目盛り	用紙幅
1	25～50mm
2	50～70mm
3	70～83mm

ヘッド圧ダイヤル



目盛り

ヘッド圧ダイヤルの目盛りは用紙幅に対する目安のため、用紙厚によって異なることがあります。
きれいに印刷されている場合は調整しないでください。

2. 電源を入れてみましょう

電源コード、インタフェースケーブルのセット手順を説明します。

電源コードを接続する

⚠ 警告

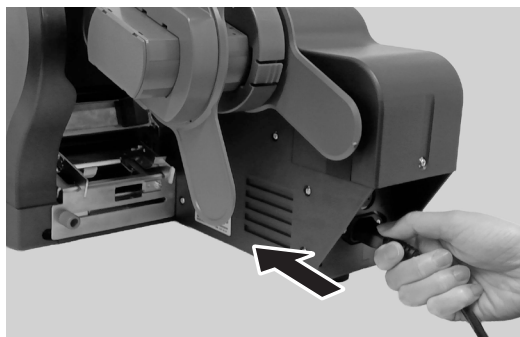
- 必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠ 注意

本製品に付属の電源コードと 3 極 -2 極変換アダプタは、本製品専用です。他の電気製品には使用できません。

① プリンタ右側の AC 入力電源端子に電源コードを接続します。

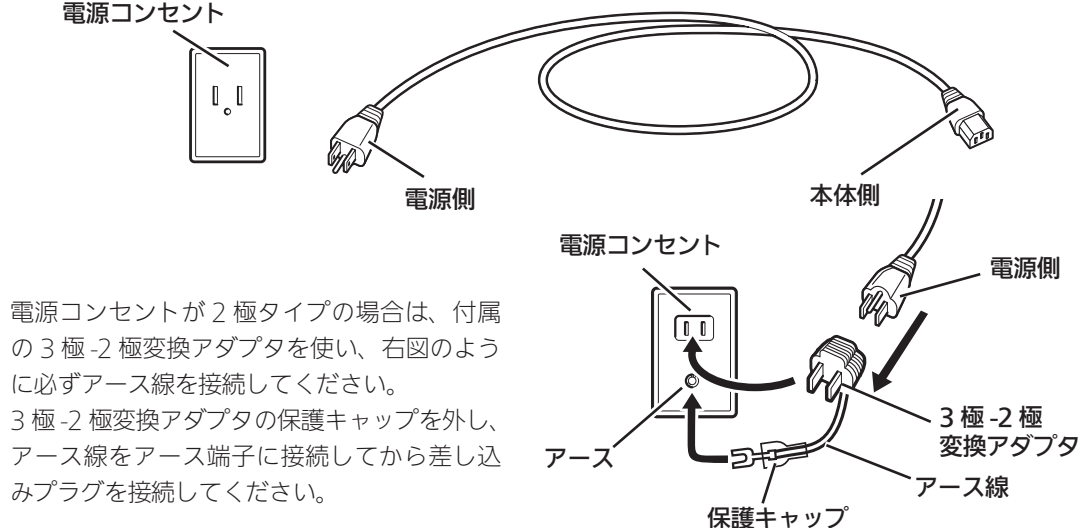
差し込む向きを確認してください。
プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。



② 電源コンセントに電源コードを差し込みます。

付属の電源コードの差し込みプラグの形は、3 極タイプになっています。3 本の足のうち 1 本がアース線になっています。
ご使用の電源コンセントが 3 極タイプの場合はそのまま電源コードを差し込んでください。

電源コンセント



電源コンセントが 2 極タイプの場合は、付属の 3 極 -2 極変換アダプタを使い、右図のように必ずアース線を接続してください。
3 極 -2 極変換アダプタの保護キャップを外し、アース線をアース端子に接続してから差し込みプラグを接続してください。

インタフェースケーブルを接続する

お選びいただいたオプションによってインタフェースは異なります。
それぞれの規格に適合したケーブルをご使用ください。

- USB インタフェースボード
- RS-232C インタフェースボード
- パラレル (IEEE1284) インタフェースボード
- LAN インタフェースボード

差し込む向きを確認してください。
プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。



簡易入力装置 Key-Bo を接続する

オプションの簡易入力装置 Key-Bo を Key-Bo 接続用コネクタ (D-SUB9 ピン) に接続します。

① プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。

② プリンタ本体を片手で押さえ、しっかりと差し込んでください。

コネクタの差し込む向きを確認してください。



③ コネクタにある 2 つのネジを指で回して固定してください。



SOS+BOX を接続する

注意

- SOS+BOX を接続する前に、必ずプリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。
- SOS+BOX の接続には、必ず専用ケーブルを使用してください。専用ケーブル以外を使用すると、機器の破損や故障の原因となるおそれがあります。

RS-232C インタフェースボード（D-SUB25 ピン）に接続する場合

RS-232C インタフェースボード（43 ページ）に SOS+BOX を接続する際は、D-SUB25 から D-SUB9 ピンへの変換ケーブルをご使用ください。

Key-Bo 接続用コネクタ（D-SUB9 ピン）に接続する場合

簡易入力装置 Key-Bo を使用しない場合は、Key-Bo 接続用コネクタに SOS+BOX を接続してご使用いただけます。

Key-Bo と SOS+BOX の両方を使用する場合は、SOS+BOX は RS-232C インタフェースボードに接続してください。

SOS+BOX を使用する場合は、SOS+BOX 接続設定（57 ページ）を有効にする必要があります。
（初期値は無効に設定されています。）

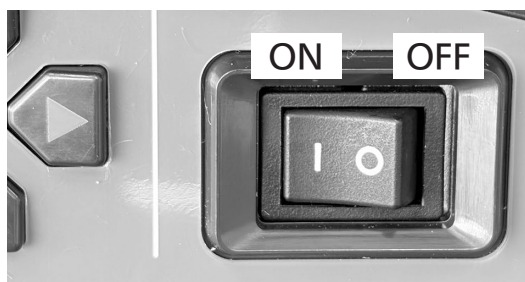
Key-Bo と SOS+BOX を同時に接続している場合は、PC から Key-Bo へ登録データを送信することはできません。

電源を入れてみる

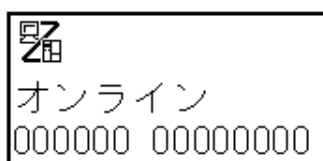
⚠ 警告

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

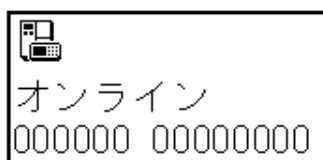
プリンタ本体前面の電源スイッチをONにします。
「I」を書いてある側を押してください。



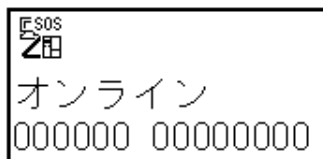
電源スイッチをONにするとディスプレイに「オンライン」と表示します。



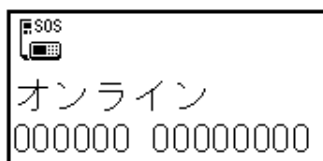
簡易入力装置 Key-Bo 接続時はアイコンの表示（左上）が Key-Bo に変わります。



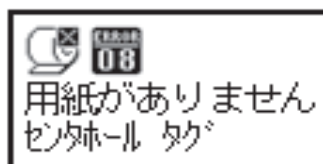
SOS+BOX 接続時はアイコンの表示（左上）が SOS+BOX に変わります。



簡易入力装置 Key-Bo と SOS+BOX 接続時は、アイコンの表示（左上）が Key-Bo と SOS+BOX に変わります。



用紙がセットされていない場合は「用紙がありません」が表示されます。そのときは用紙をセットしてください。



今までにおこなった準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「オンライン」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは「あれ？どうしたのかな？」をご覧ください、準備をし直してください。

電源を切る

本製品が正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

- ① 用紙をセットして印字をおこなった後は
排出カット キーを押し、プリンタの内部に残っている印字済みの用紙を排出します。

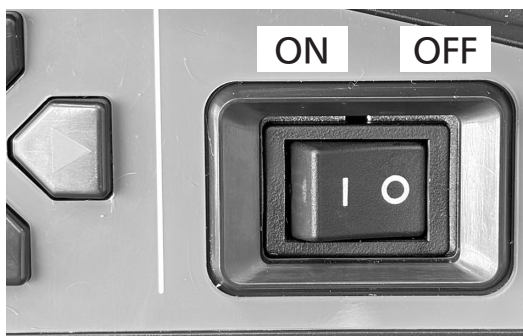
内部に印字済み用紙が残っていない場合、**排出カット** キーを押しても排出カット動作は起こりません。

排出カット



- ② プリンタ本体前面の電源スイッチを OFF にします。

「O」と書いてある側を押してください。



3. リボンのセット

弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。

リボンのセット

- ① カバーを開けます。



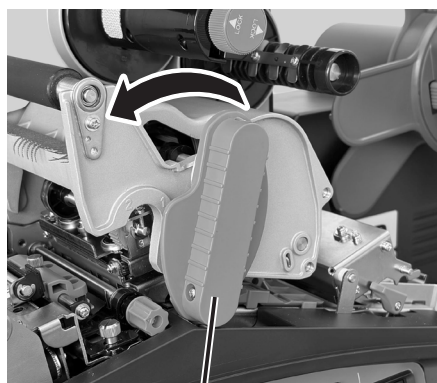
- ② 青色のヘッドロックレバーを反時計回りに回転させます。

サーマルヘッドが開きます。



注意

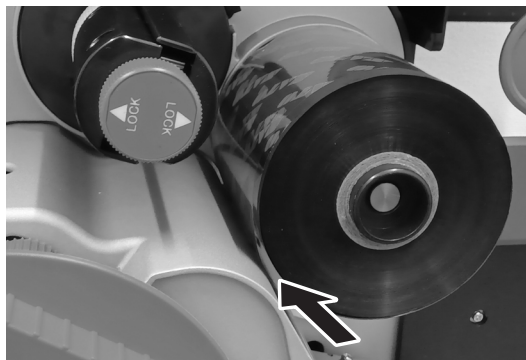
ヘッドロックレバー開閉時には、手を挟まないようご注意ください。



ヘッドロックレバー

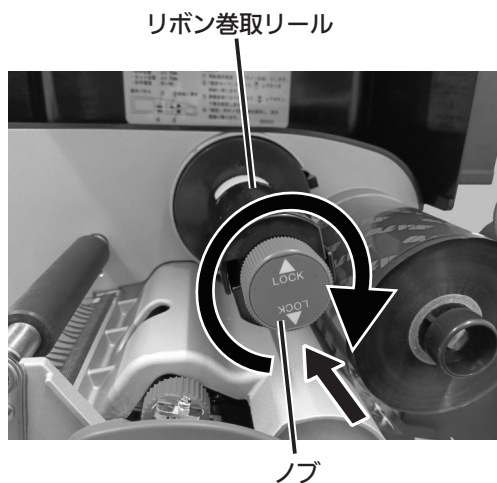
- ③ リボンの留めテープを外し、リボン供給部にリボンを入れます。

巻き方向に注意して、奥まで入れてください
(22 ページのイラストを参考にしてください)。



④ リボン巻取リールがシャフトに固定されていることを確認します。

もし固定されていない場合はリボン巻取リールを奥に突き当てて、青色のノブを時計方向に回転させて固定します。

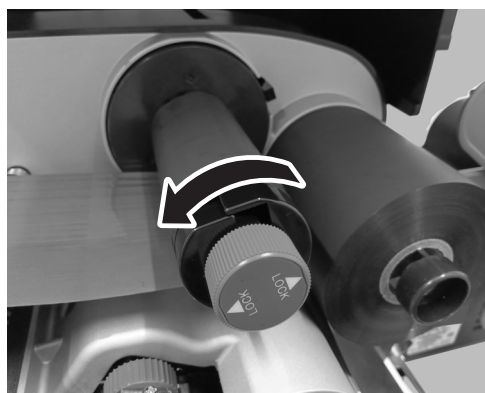
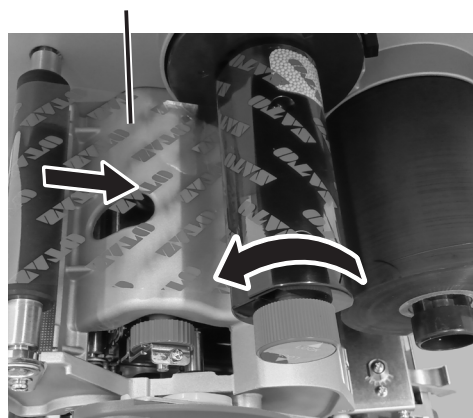


⑤ リボンをリボン供給部からサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取リールへ通します。

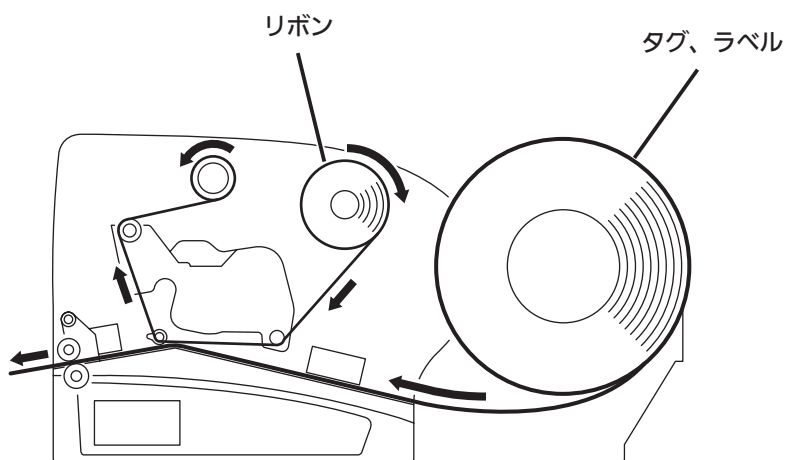
リボン巻取リールの奥側にリボンを合わせ、数回矢印の方向へ巻取ります。リボンにしわがなくなるまで巻き取ってください。

※ リボンの端はリボン巻取リールの滑り止め部分を利用して留めます。シールやテープなどの糊を使って固定しないでください。

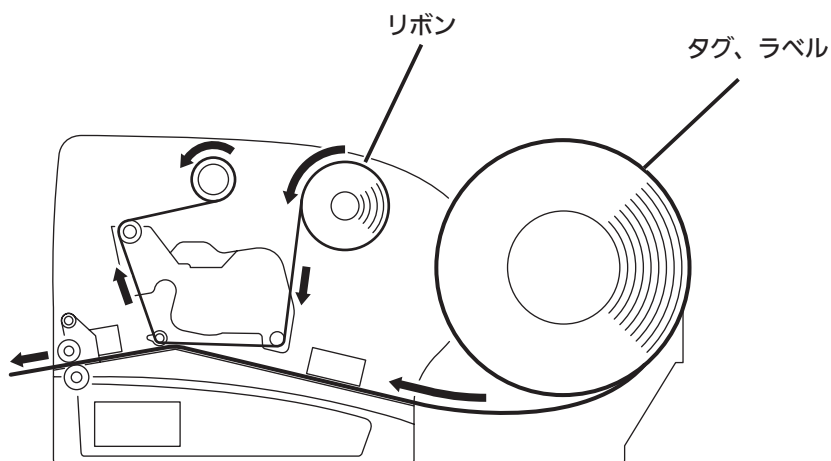
リボン引き出し部（透明）



下図のようにリボンがセットされていることを確認してください。



表巻きリボンの場合（標準）



裏巻きリボンの場合

⚠ 注意

- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃をするときは、火傷をしないように注意してください。
- サーマルヘッドを素手で触らないでください。ケガ・故障の原因になります。

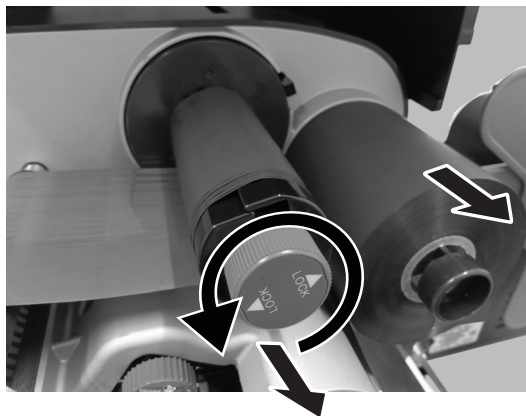
以上でリボンのセットは完了です。

リボンの取り外し

供給側のリボンはそのまま矢印の方向に抜き取ってください。

巻取側のリボンは青色のノブを反時計方向に回転させてリボン巻取部のロックを外してから抜き取ってください。

抜き取ったリボンを再セットする際は、巻取側のリボンをカットしてから取り付けてください。



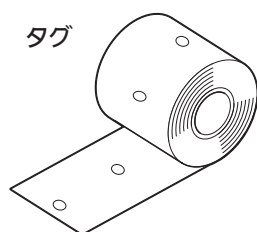
⚠ 注意

- リボン 1 巻ごとに、巻き取ったリボンを必ず取り除いてください。
- リボンを取り除く際、手がインクで汚れる場合があります。

4. 用紙の種類

本製品はタグ 4 種類、ラベル 2 種類の合計 6 種類の用紙タイプを使用できます。また「センサ禁止」モードでアイマーク、ホール、エッジのないラベル / タグを使用できます。

弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。



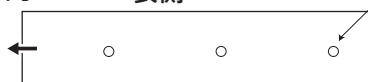
タグ

センタ
ホールタグ

紙送り方向

表側

穴

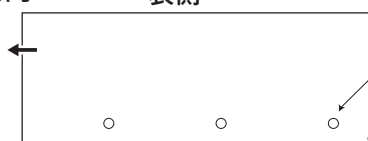


横ホールタグ

紙送り方向

表側

穴



アイマーク
タグ

紙送り方向

表側



裏側

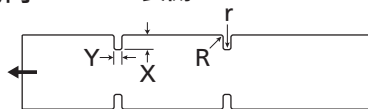
アイマーク



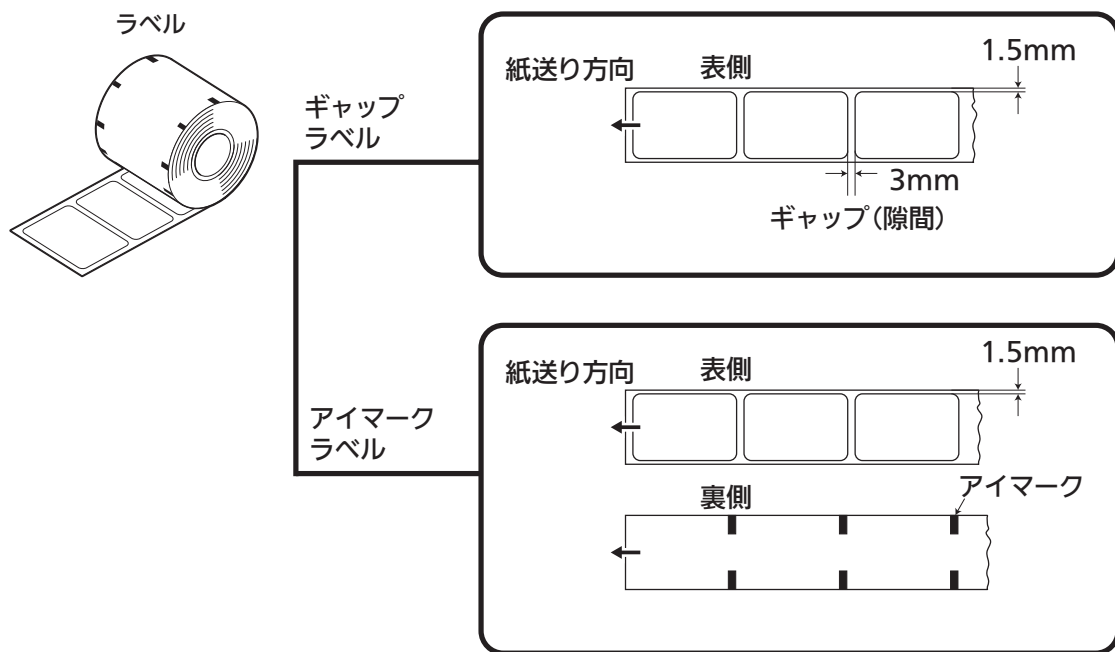
エッジタグ

紙送り方向

表側



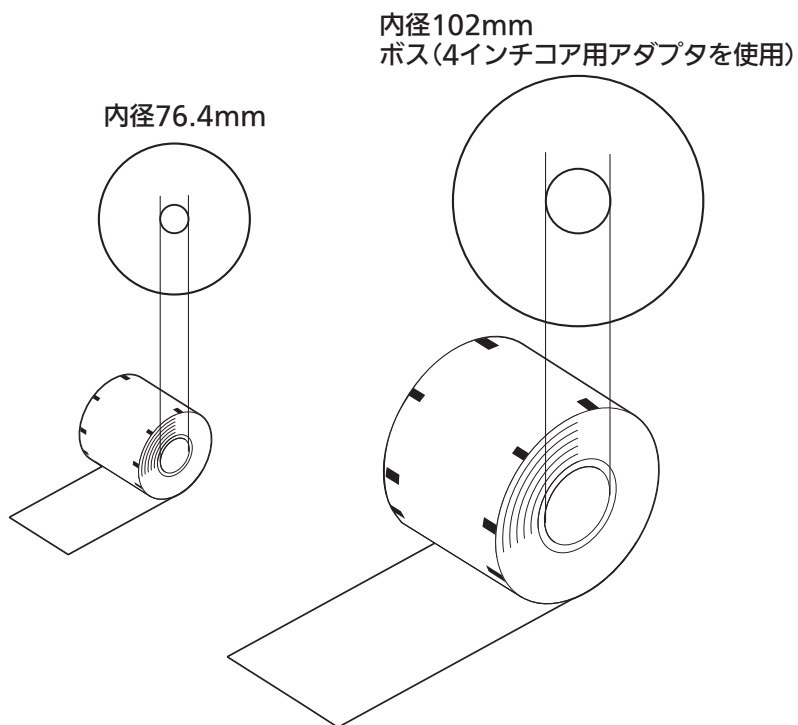
カド丸・角 $R=1\pm0.3\text{mm}$
幅 $Y=2\pm0.3\text{mm}$
深さ $X=6\pm0.3\text{mm}$
深さ部 角 $r=1\pm0.3\text{mm}$



本製品は2種類の支管タイプに対応しています。

支管タイプ：3インチタイプ（76.4mm）、4インチタイプ（102mm）

用紙外径：ラベル/タグ 最大250mm（内径102mmのとき）



5. 用紙のセット

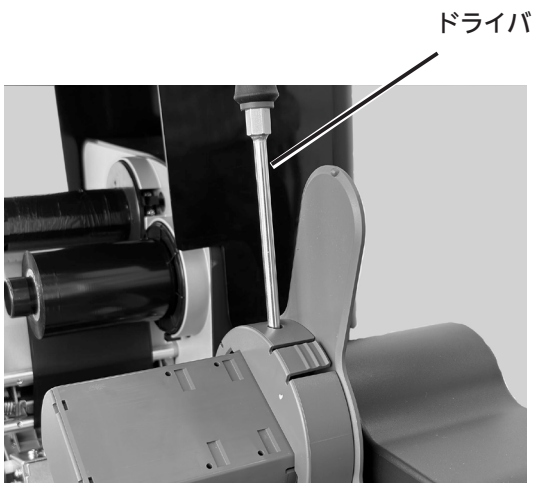
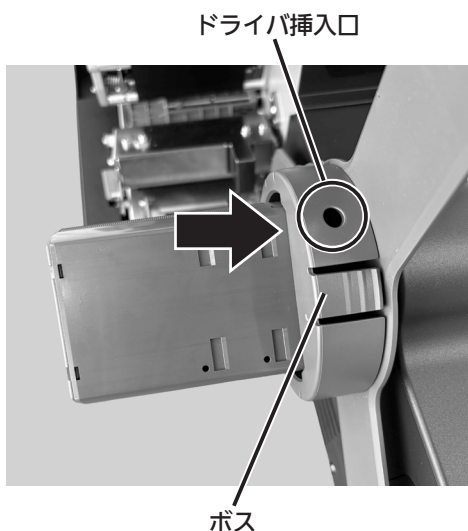
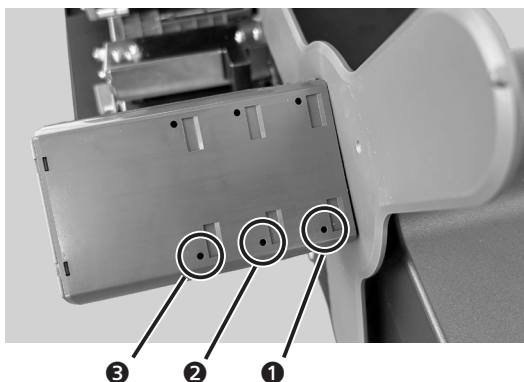
本製品は内径 76.4mm と 102mm のロール紙に対応しています。
内径 102mm のロール紙をセットする場合は付属のボス、ネジとドライバをご用意ください。

用紙のセット

内径 76.4mm のロール紙をセットする場合は手順 2 からスタートしてください。

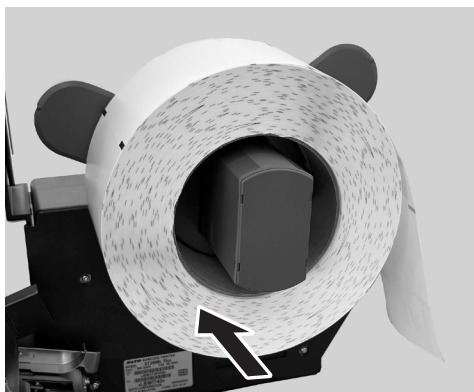
- ① ボス（4 インチコア用アダプタ）の取り付け位置目安表を参考にボスを取り付け、ネジで固定します。

用紙幅	ボスの数	ボスの取り付け位置
50mm未満	1個	取付穴①
50～75mm	2個	取付穴①、②
75～83mm	2個	取付穴①、③

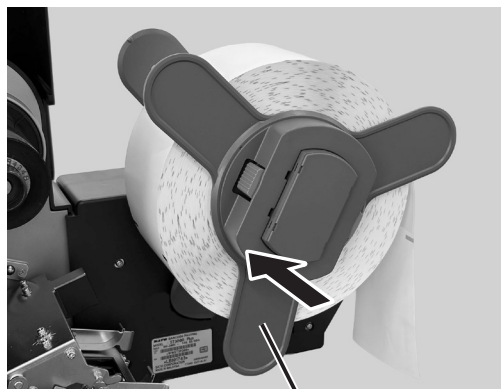


- ② 用紙を供給側にセットします。

奥に突き当たるまでしっかりと入れてください。



- ③ ツマミを押しながらロール紙押さえをセットします。



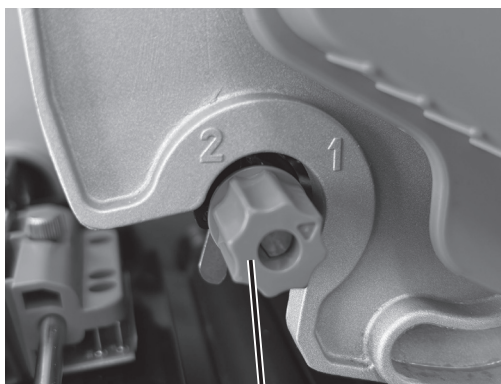
ロール紙押さえ

- ④ セットする用紙に合わせて、タグ / ラベルヘッド対向切換ダイヤルを“1”または“2”にセットします。

“1”（右側）：タグ / ラベル兼用（通常）

“2”（左側）：ラベル（高印字品質）

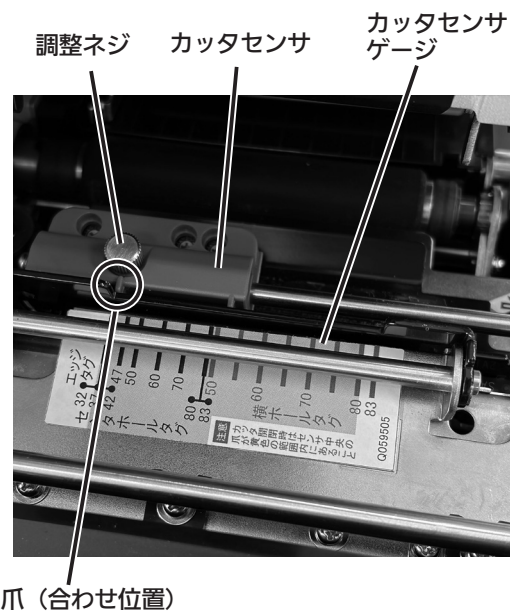
通常は“1”で使います。ヘッドを必ずオープンにしてからセットしてください。



タグ / ラベルヘッド対向切換ダイヤル

- ⑤ センタホールタグまたは横ホールタグを使用する場合は、カッタセンサの位置を用紙の幅に合わせてカッタセンサゲージの所定位置に調整します。
それ以外の用紙（ラベル / エッジタグ / アイマークタグ）をセットする場合は一番奥の位置に調整します。

調整ネジをゆるめ、カッタセンサゲージの目盛りに合わせてカッタセンサを動かして調整ネジを締めます（中央の爪にゲージの目盛りを合わせます）。



爪（合わせ位置）

- ⑥ ヘッドロックレバーを時計方向に回してロックします。

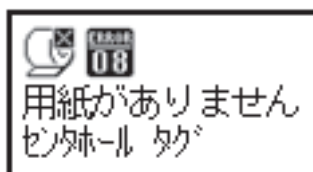
⚠ 注意

ヘッドロックレバー開閉時には、手を挟まないようご注意ください。



- ⑦ 電源を入れます。

ディスプレイに「用紙がありません」が表示されます。



- ⑧ **オンライン**キーを押してオフライン状態にします。

なお、オフライン状態でないと用紙が選択できません。

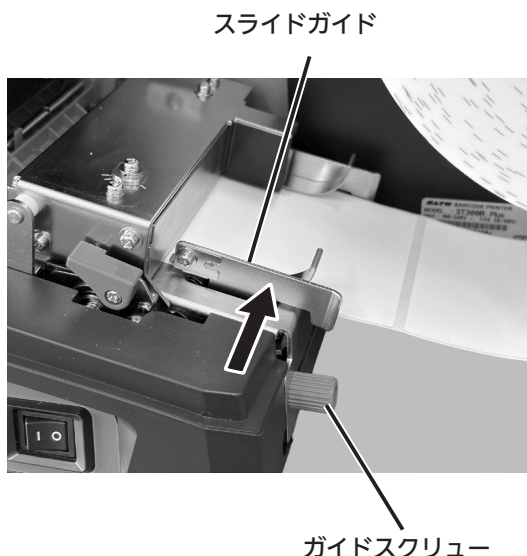


- ⑨ セットしたい用紙がディスプレイに表示されるまで 用紙選択 キーを押します。

用紙選択

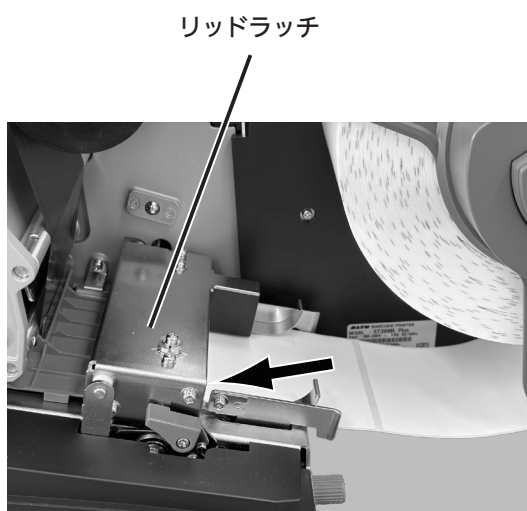


- ⑩ スライドガイドを用紙の幅に合わせ、ガイドスクリューで固定します。



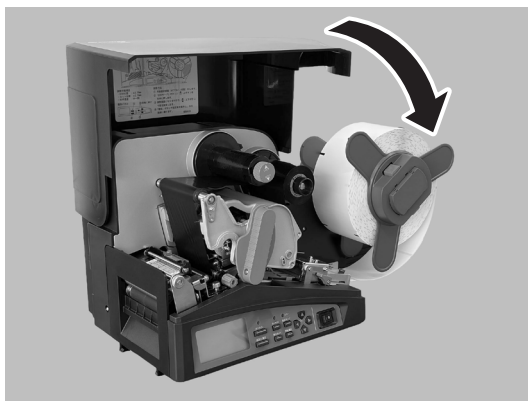
- ⑪ リッドラッチが閉まっていることを確認し、リッドラッチの下に用紙を差し込みます。

用紙が自動的に引き込まれ始めたら手を放してください。



- ⑫ 用紙が自動的に給紙され、用紙が止まったらカバーを閉じます。

自動給紙機能や用紙無駄なし機能については次ページをご覧ください。



以上で用紙のセットは完了です。

自動給紙機能

自動給紙機能とは用紙を本製品にセットする際、検知した用紙を自動でヘッド位置まで搬送する機能です。

プリンタ内部に用紙が残っていないことを確認してから使用してください。

自動給紙機能はサーマルヘッドおよびリッドラッチ開閉後のオフライン状態のときにリッドラッチ部に用紙を挿入することで用紙を検知して自動給紙動作をおこないます。

サーマルヘッドおよびリッドラッチを開閉して手動で用紙をセット後、**オンライン** キーや **紙送り / 確定** キーを押した場合は、用紙位置合せのための紙送り動作となり、自動給紙動作とは異なる動作となります。

用紙無駄なし機能

自動給紙をおこなうことにより、先頭のタグ／ラベルを無駄にすることなくヘッド位置まで搬送し、印字することができます。

自動給紙により用紙無駄なし機能が可能なタグ／ラベル最大用紙長さ（台紙を含む）を下表に記します。

用紙種類	用紙無駄なし機能が可能な最大用紙長さ
センタホールタグ	140mm
アイマークタグ/ラベル	65mm
横ホールタグ	200mm
エッジタグ	65mm
ギャップラベル	70mm

※ 上記サイズは各用紙種類の初期値でご使用いただく場合の最大用紙長さです。

※ 上記サイズ以上の場合や印字位置補正をおこなった場合、自動給紙は可能ですが、先頭に位置合せ用のタグ / ラベルが排出されます。

オプション装着時のセット

オプションユニットには、用途によって選べる以下のタイプがあります。ご購入いただいたユニットに対応した説明をご覧ください。

- 大型スタッカ (STS300 Plus) 31 ページ
- 小型スタッカ (STS302 Plus) 31 ページ
- 巻取機 (RWS300) 37 ページ

⚠ 注意

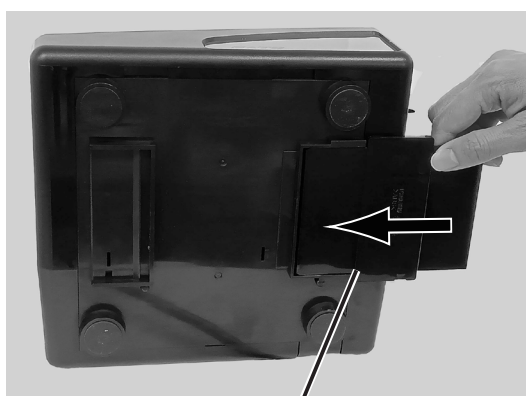
セットは必ず電源を切ってからおこなってください。

スタッカ装着時のセット

スタッカはカットされたタグを積み重ねるオプションです。小型スタッカが使用できるタグの長さは 25 ～ 80mm、大型スタッカは 25 ～ 150mm です。最大積載高さは 150mm です（紙厚 0.26mm のタグが約 500 枚）。

ここでは大型スタッカを例に説明します。小型スタッカの場合、⑥～⑨は省略してください。

- ① スタッカ底面に接続プレートを差し込みます。「STACKER」の表示がある方がスタッカ底面の方を向くように差し込んでください。



接続プレート

- ② スタッカとプリンタを組み合わせます。

プリンタ本体の底面のガイドに合わせ、接続プレートを差し込みます。

接続プレートがプリンタ本体に確実に挿入されるようセットしてください。

タグストッパーはスタッカ本体の溝に片方の爪を差し込んでから前後位置調整クリップをつまんで固定してください。

タグストッパー



前後位置調整クリップ

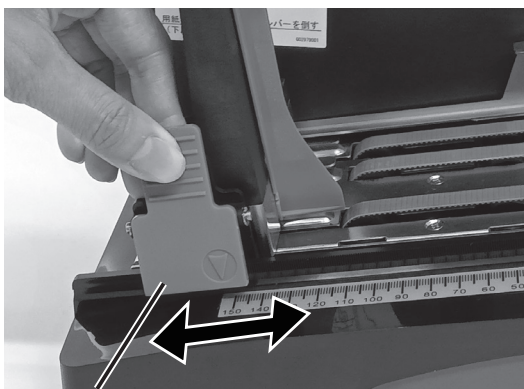
- ③ スタックのインターフェースケーブルをプリンタの EXT コネクタ端子に接続します。



- ④ タグの長さに合わせてタグストッパーの位置を調整します。

前後位置調整クリップの矢印マークをタグの長さの位置に合わせます。

タグストッパーは前後位置調整クリップをつまみながら動かしてください。



前後位置調整クリップ

- ⑤ タグの幅に合わせてタグガイドの位置を調整します。

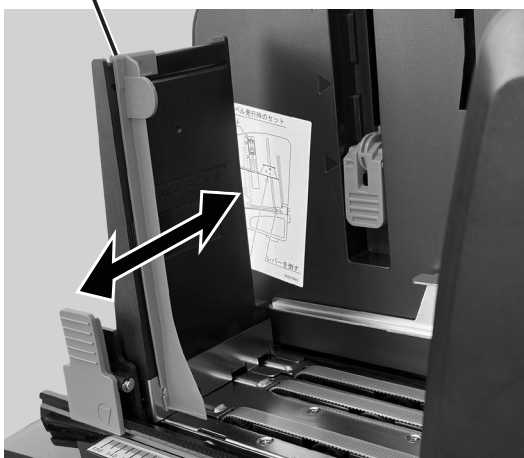
タグガイドの内側を用紙の幅に合わせてください。



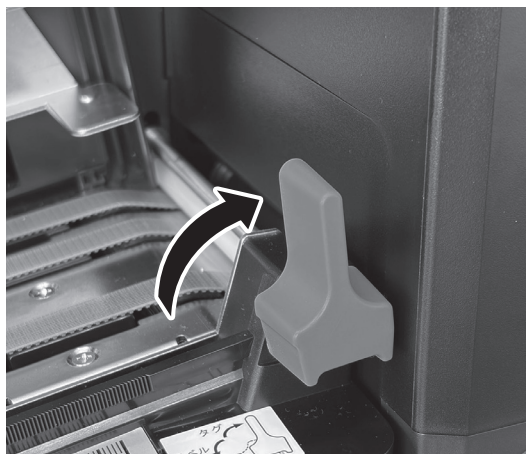
注意

タグガイドを触る際は、角でケガをしないように注意してください。

タグガイド



- ⑥ タグ / ラベル通紙ルート切換ダイヤルを右側「タグ」にセットします。
(大型スタッカのみ)



- ⑦ 大型スタッカで 90mm 以上のラミネートタグまたはニス引きのタグを使用する場合は、スタッカにスペーサー * を取り付けてください。

右図のように指でスペーサーをつまみ、スタッカの溝に差し込みます。

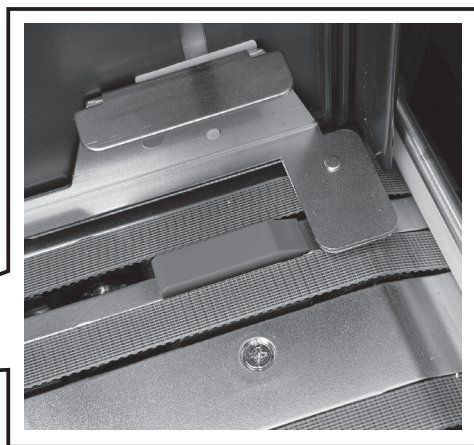


* スペーサー

(大型スタッカ STS300 Plus の付属品)



スペーサーの取り付け位置は下図のようになります。



⑧ 用紙押さえを一番下の位置にセットします。

大型スタッカで 90mm 以上の長さのタグを使用する場合は、必ず追加ウエイトを使用してください。

追加ウエイトを使用する場合は、用紙押さえ突起部に追加ウエイトの溝をセットして、上に載せてください。

追加ウエイト

用紙押さえ



⑨ 大型スタッカの場合は、最大積み高さ調整レバーを動かして、スタックフルとなる位置を設定します。

(大型スタッカのみ)

なお、90mm 以上のラミネートタグおよびニス引きのタグを使用する場合は、最大積み高さ調整レバーを最下段にしてください。

レバーセット位置	スタックフルの枚数 (参考)
上段	約500枚
中段	約375枚
下段	約250枚

※ 上記枚数はタグ厚み 0.26mm を使用する場合があります。
 なお、材料やタグの反り状態によって枚数は異なります。

最大積み高さ調整レバー

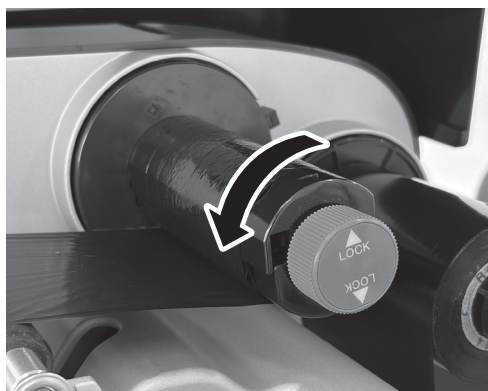


⑩ 電源を入れます。

⑪ カバーを開け、ロール紙とリボンをセットします。

リボンのセットは「リボンのセット」をご覧ください。

用紙のセットは「用紙のセット」をご覧ください。



⑫ カッタ ON LED が点灯していることを確認します。

カッタ ON LED が点灯しないときは一度オフラインにして **カッタ ON** キーを押してください。

なお、オンライン状態では **カッタ ON** キーは操作できません。



⑬ プリンタがオンライン状態であることを確認します。

オンライン状態になっていない場合は **オンライン** キーを押してください。



以上でスタッカ装着時のセットは完了です。

使用上の注意

- 用紙無駄なし機能が可能な最大用紙長を超える用紙の場合、かつ、位置補正が入った場合、位置合わせ用の用紙が排出されますので、取り除いてからスタッカを使用してください。
- タグを取り出すときは用紙押さえをスタックフルの位置まで上げてください。
- 積み上げたタグが崩れないように注意して取り出してください。
- 長さが短いタグを取り出すときはタグストッパーを傾けてください。
- 印字ズレ、カットズレが生じた場合は調整モード操作での調整が可能です。

巻取機（RWS300）装着時のセット

巻取機は印字済みのラベルを巻き取るオプションです。ラベル巻取機が使用できるラベルの幅は 22 ～ 80mm（台紙幅：25 ～ 83mm）です。巻取長さは約 100m（最大長さ）、巻取外径は 150mm（最大外径）です（ただし材質により異なることがあります）。



注意

セットは必ず電源を切ってからおこなってください。

巻取機はタグには対応しておりません。必ずラベルをご使用ください。

ラベル巻取機は本体に直接取り付けることもスタッカとの併用も可能です。以下の手順はスタッカを取り付けたままラベル巻取機にラベルをセットする方法を説明します。

- ① 前後位置調整クリップをつまみながらスタッカからタグストッパーを取り外します。
- ② 追加ウエイトを装着している場合は、追加ウエイトも取り外します。

タグストッパー

追加ウエイト

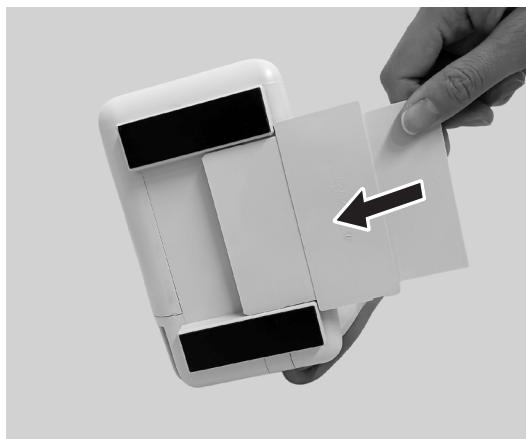


前後位置調整クリップ

- ③ ラベル巻取機の底面に接続プレートを差し込みます。「REWINDER」の表示がある方がラベル巻取機の底面を向くように差し込んでください。

接続プレートには下記の 2 種類があります。
接続する機器によって使い分けてください。

- ・プリンタ本体 – ラベル巻取機用
- ・スタッカ – ラベル巻取機用



④ ラベル巻取機とスタッカ、プリンタを組み合わせます。

スタッカ本体の底面のガイドに合わせ、接続プレートを差し込みます。



⑤ ラベル巻取機のインタフェースケーブルをスタッカの EXT コネクタ端子に接続します。

スタッカを使わず、プリンタを直接接続するときは、プリンタの EXT コネクタ端子に接続します。



⑥ スタッカのタグ / ラベル通紙ルート切換ダイヤルを左側「ラベル」にセットします。

※ この手順は大型スタッカを併用しているときのみ必要です。



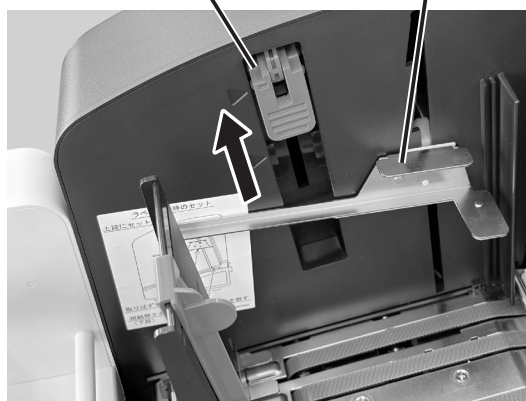
- ⑦ スタッカの用紙押さえを写真のように引き上げてセットします。
また、最大積み高さ調整レバーを動かして、上段に設定します (大型スタッカのみ)。

※ 大型スタッカの場合は、用紙押さえを中段または下段にセットしてください。小型スタッカの場合は、用紙押さえを中段にセットしてください。

※ 大型スタッカの場合は、用紙押さえを最大積み高さ調整レバーと同じ高さに、小型スタッカの場合は、上段にセットするとスタックフルエラーになります。

最大積み高さ調整レバー

用紙押さえ



- ⑧ 電源を入れます。

- ⑨ カバーを開け、ロール紙とリボンをセットします。

リボンのセットは「リボンのセット」をご覧ください。

用紙のセットは「用紙のセット」をご覧ください。

- ⑩ カッタ ON LED が消灯していることを確認します。

カッタ ON LED が点灯しているときは一度オフラインにして **カッタ ON** キーを押してください。

なお、オンライン状態では **カッタ ON** キーは操作できません。

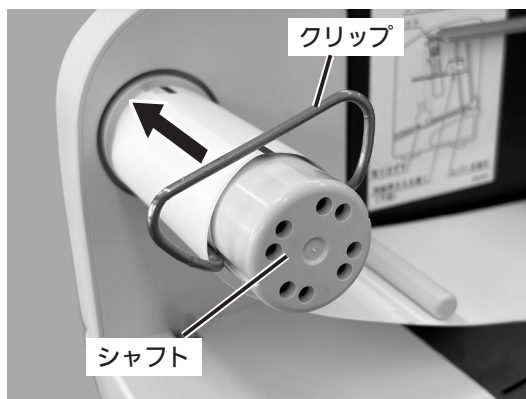


- ⑪ オフラインにして **紙送り/確定** キーを何度か押し、ラベルを巻取機の位置まで送ります。



- ⑫ ラベルを巻取機のシャフトに時計方向に巻き付け、クリップ(2箇所)で留めます。

※ 巻き取ったラベルを外すときは、ラベルとクリップを同時に引き抜いてください。



- ⑬ オフラインにして **紙送り/確定** キーを押し、ラベルが正常に巻き取られることを確認します。



以上で巻取機装着時のセットは完了です。

6. インタフェースボードの設定

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

- USB インタフェースボード
- RS-232C インタフェースボード
- パラレル (IEEE1284) インタフェースボード
- LAN インタフェースボード

このうち、RS-232C インタフェースボードには通信条件を決めるディップスイッチ、LAN インタフェースボードには保守用のディップスイッチがついています。

通信設定は設定モードメニューとインタフェースボードのどちらでも設定できます。

ディップスイッチを設定する際は、インタフェースボードを外してください。

本項では、ディップスイッチの設定変更について説明をします。

インタフェースボードの取り外し

パラレル (IEEE1284) インタフェースボードを例に説明していますが、その他のインタフェースボードでも同じ手順となります。

⚠ 注意

インタフェースボードの取り付け・取り外しをおこなうときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってからおこなってください。インタフェースボードやプリンタ本体が破損するおそれがあります。

- ① プリンタの電源を OFF にします。



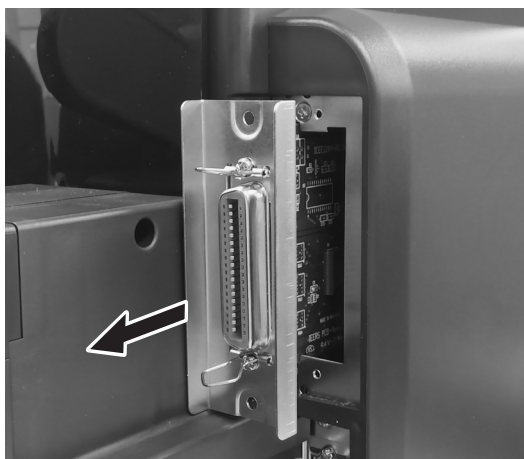
- ② プリンタのインタフェースボードに接続されているインタフェースケーブルを取り外します。



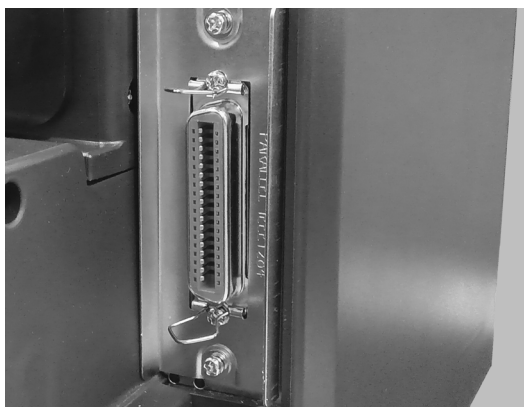
- ③ インタフェースボードを固定しているネジ2本を外します。



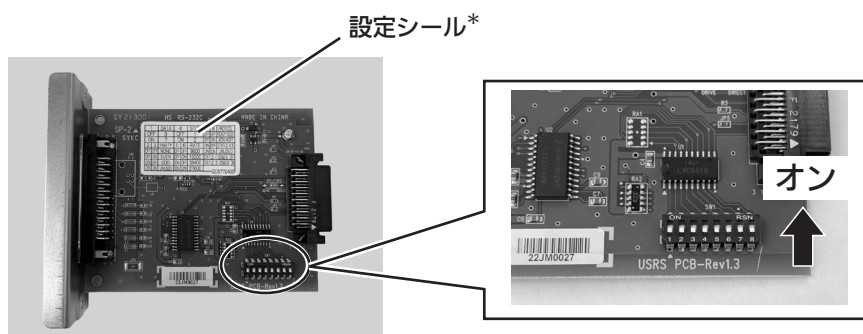
- ④ インタフェースボードを引き抜きます。



- ⑤ 設定後はインタフェースボードを元の位置に差し込み、ネジで固定してください。
取り付けのときは、インタフェースボードを傷つけないよう注意してください。



RS-232C インタフェースボードの設定



SATOC ST300R Plusシリーズ RS-232Cインタフェースボード ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	データ長設定	ON : 7ビット OFF : 8ビット (初期値)
2 3	パリティビット設定	OFF-OFF : 無し (初期値) OFF-ON : 偶数 ON-OFF : 奇数 ON-ON : 未使用
4	ストップビット設定	ON : 2ビット OFF : 1ビット (初期値)
5 6	ボーレート設定	OFF-OFF : 9600bps OFF-ON : 19200bps (初期値) ON-OFF : 38400bps ON-ON : 57600bps
7 8	通信プロトコル設定	OFF-OFF : READY/BUSY (初期値) OFF-ON : XON/XOFF ON-OFF : ステータス3 ON-ON : ステータス4

* 設定シールの内容ではなく、上記の表にしたがって設定してください。

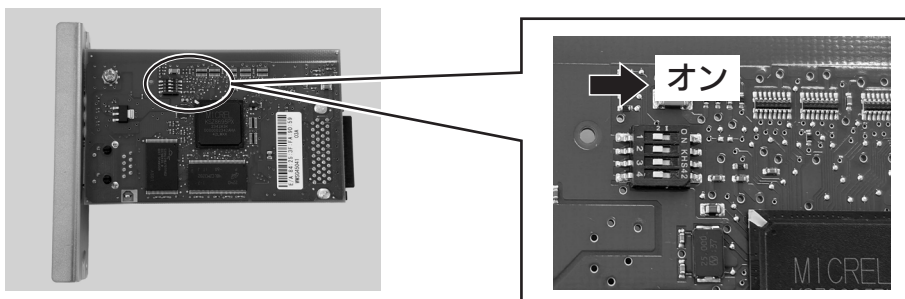
RS-232C インタフェースボード /LCD の優先設定はプリンタ本体側の画面操作 (通信設定) で設定します。

RS-232C インタフェースの詳細設定は、プリンタ本体の通信設定で設定してください。

ディップスイッチの設定を変更するときは、プリンタの電源を切ってください。
ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

LAN インタフェースボードの設定

プリンタを使用する場合は、すべて OFF の設定で使用します。



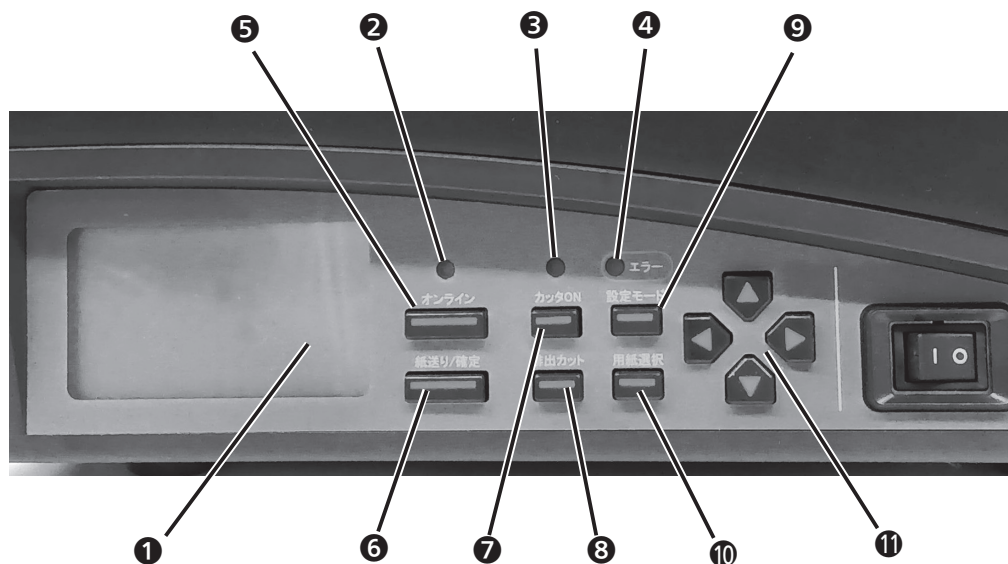
SATOC ST300R Plusシリーズ LANインタフェースボード ディップスイッチ表		
NO	機能	説明
1	未使用	OFF：初期値
2	LANインタフェースボード設定情報初期化	ON：有効
		OFF：無効（初期値）
3	LANインタフェースボード設定情報印字 （IPアドレスなどの設定情報を印字します）	ON：有効
		OFF：無効（初期値）
4	LANインタフェースボード自己診断印字 （診断結果を印字します）	ON：有効
		OFF：無効（初期値）

ディップスイッチの設定を変更するときは、プリンタの電源を切ってください。
ディップスイッチの設定は、電源を入れ直したときに有効になります。

7. 動かしてみましょう

本製品を動かすのに必要な操作のしかたや機能を説明します。

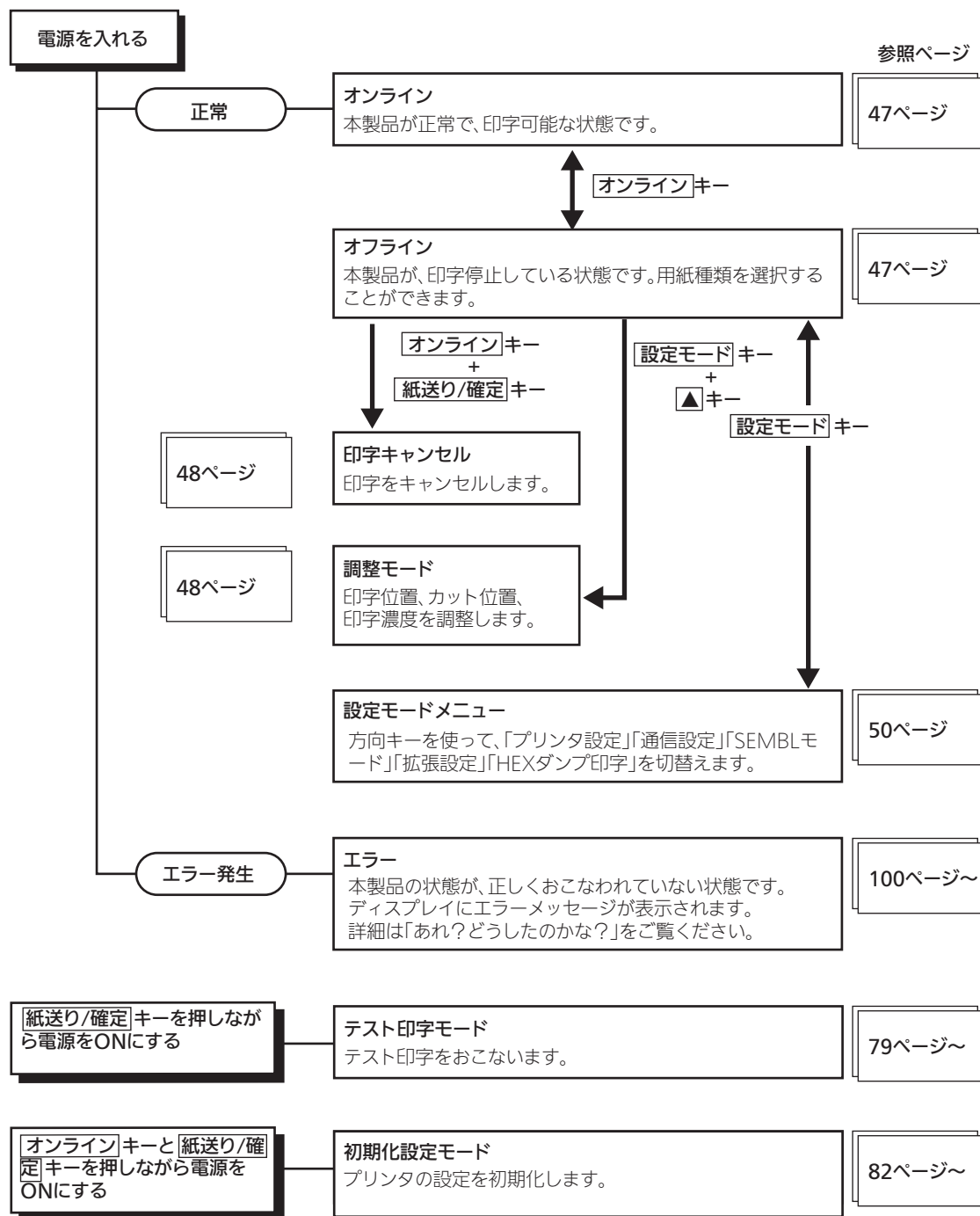
操作パネル部



NO	品名	機能
①	ディスプレイ	各種メッセージを表示します。
②	オンラインLED	緑（点灯）：オンライン状態 点灯なし：オフライン状態
③	カットON LED	カットモード時に点灯（緑）します。
④	エラーLED	エラー発生時に点灯または点滅（赤）します。
⑤	オンラインキー	オンライン/オフライン状態を切替えます。また、各種設定モード時は前の設定項目に戻すキーになります。
⑥	紙送り/確定キー	オフライン状態で押すと、用紙が一枚送られます。また、各種設定モード時は選択した項目を確定するキーになります。
⑦	カットONキー	カット動作の有効/無効を切替えます。
⑧	排出カットキー	発行後、印字されたタグ/ラベルが内部に残っている場合に印字されたタグ/ラベルをすべて排出します（オンライン状態/オフライン状態共に）。プリンタ内部に残っているタグ/ラベルがないときは何も動作しません。
⑨	設定モードキー	オフライン状態で押すと、設定モードメニューに移動します。各種設定モードで押すと、設定モードメニューに戻ります。
⑩	用紙選択キー	オフライン状態で押すと、用紙種類の表示を切替えます。
⑪	▲▼◀▶キー	各種設定モードでカーソルの移動、設定値の入力をおこないます。

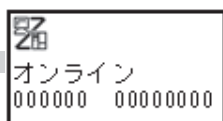
操作の流れ

本製品を本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。



詳しい説明

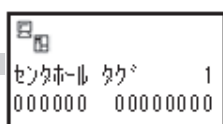
本製品の詳しい操作のしかたとディスプレイの表示について説明します。



オンライン操作

本製品が正常な状態で、印字可能な状態です。オンライン状態のとき、次の操作ができます。

- 本製品に接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせたり、一時停止させたりします。
- **オンライン** キーを押して、オフライン状態に切替えたり、印字を停止したりすることができます。



オフライン操作

本製品が印刷停止している状態です。使用する用紙とセンサを設定できます。

- ① **用紙選択** キーを押して使用する用紙種類（センサ）を選びます。

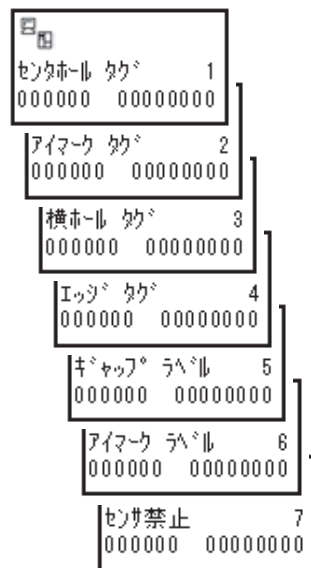
選択できる用紙とセンサは次のとおりです。

- ・センタホールタグ
- ・アイマークタグ
- ・横ホールタグ
- ・エッジタグ
- ・ギャップラベル
- ・アイマークラベル
- ・センサ禁止

※ 選択した用紙種類によって表示順が変わることがあります。
印刷データが残っている場合（排出されていないタグ含む）

用紙選択 キーは操作できません。

- ② **オンライン** キーを押すと用紙種類を確定し、オンライン画面に戻ります。



発行中の印字データキャンセル操作

発行中に **オンライン** キーを押すとオフラインになり、発行が一時停止します。

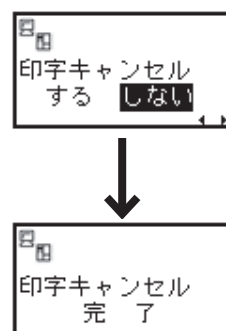
その状態のとき、**オンライン** キーと **紙送り / 確定** キーを同時に押すと、受信済みの印字データをすべてクリアできます。

① **◀ ▶** キーを押して、“する”、“しない” を選びます。

② **紙送り / 確定** キーを押して、決定します。

“する” は、完了画面に進み、3 秒後にオフライン状態に戻ります。

“しない” は、そのままオフライン状態に戻ります。



調整モード操作

オフライン状態で、**設定モード** キーと **▲** キーを同時に押すと、調整モードに入ることができます。調整モードでは印字位置、カット位置、印字濃度の調整をおこなうことができます。

設定の登録

各調整モード設定を有効にするためには、設定が終わった後、**紙送り / 確定** キーを 1 回押してください。設定が登録され、次の設定画面が表示されます。

紙送り/確定



紙送り / 確定 キーを押さないかぎり、設定は登録されませんのでご注意ください。

オンライン キーまたは **設定モード** キーを押すと、設定値を登録しないでオフライン画面に戻ります。

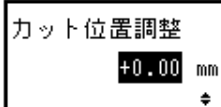
印字位置調整

+0.00 mm

印字位置調整

印字位置を調整します。設定値は 0.25mm 単位で設定できます。

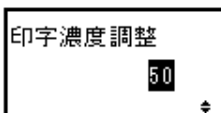
- **▲ ▼** キーを押して、印字位置を調整します。**▲ ▼** キーで調整値が増減します。
- 設定範囲は、- 3.75 ~ +3.75 です。
- **紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- **オンライン** キーまたは **設定モード** キーを押すとオフライン状態に戻ります。
- 初期値は、0.00 です。



カット位置調整

カット位置を調整します。設定値は 0.25mm 単位で設定できます。

- ▲ ▼ キーを押して、カット位置を調整します。▲ ▼ キーで調整値が増減します。
- 設定範囲は、－ 3.75 ～ +3.75 です。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- [オンライン] キーまたは [設定モード] キーを押すとオフライン状態に戻ります。
- 初期値は、0.00 です。



印字濃度調整

プリンタの印字濃度を調整します。

- ▲ ▼ キーを押して、印字濃度を選びます。▲ ▼ キーで調整値が増減します。
- 設定範囲は、00 ～ 99 です。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、印字位置調整画面に変わります。
- [オンライン] キーまたは [設定モード] キーを押すとオフライン状態に戻ります。
- 初期値は、50 です。

プリンタ設定操作

オフライン状態のとき、[設定モード] キーを押すと、プリンタの各種設定をおこなうことができます。ただし印字データが残っているときは設定画面へ移行できません。発行を終了するか、または、印字データキャンセルをおこなってから設定変更してください。

次のページから詳しい設定方法を説明します。

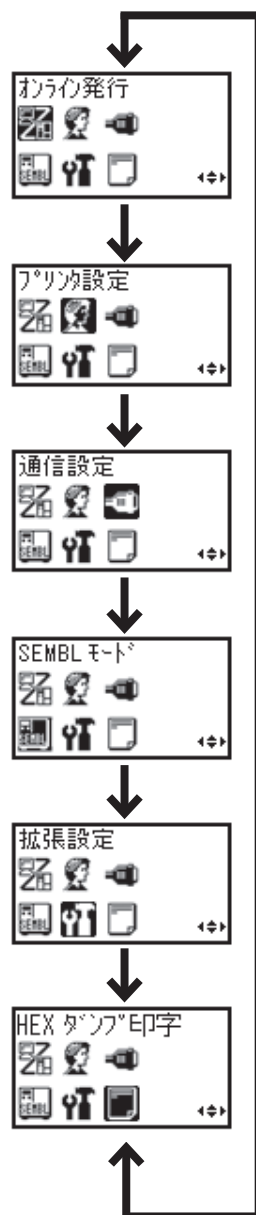
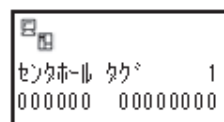
エラー状態操作

「あれ？どうしたのかな？」で説明します。

設定モードメニュー

設定モードメニューでの詳しい設定方法を説明します。

- ① オンライン状態から **オンライン** キーを押して、オフライン状態にします（用紙選択の画面になります）。
- ② オフライン状態で **設定モード** キーを押します。設定モードメニュー（右図）が表示されます。
- ③ 設定モードメニューでは、**▲ ▼ ◀ ▶** キーを1回押すごとに、設定する項目が切り替わります（アイコンが反転します）。
- ④ **紙送り / 確定** キーで設定する項目を選びます。
- ⑤ 各設定モードで設定をおこないます。
- ⑥ **設定モード** キーを押すと、設定モードメニューに戻ります。
- ⑦ 再び **設定モード** キーを押すと、オフライン（用紙選択画面）に戻ります。



設定モードには次の 6 つのモードがあります。



- プリンタ設定
印字条件の設定をおこないます。以下項目が設定できます。
 - － 印字速度設定
 - － 印字濃度設定
 - － 基点補正
 - － ゼロスラッシュ切替設定
 - － JIS コード切替設定
 - － 漢字書体切替設定
 - － プロポーショナルピッチ設定



- 通信設定
インタフェースの設定をおこないます。以下項目が設定できます。
 - － Key-Bo 接続
 - － SOS+BOX 接続
 - － 通信設定



- SEMBL モード
SEMBL モードでプログラムを起動します。



- 拡張設定
拡張機能の設定をします。以下項目が設定できます。
 - － 濃度レンジ設定
 - － 印字方式設定
 - － 用紙サイズチェック設定
 - － コマンドエラー表示
 - － 給紙後オンライン設定
 - － 基準位置移動後の発行動作設定
 - － ヘッドチェック設定
 - － 言語選択設定
 - － プロトコルコード設定
 - － LCD 節電時間設定
 - － SEMBL モード自動起動設定



- HEX ダンプ印字
ダンプデータの設定をおこないます。

設定の登録

各プリンタ設定を有効にするためには、設定が終わった後、**紙送り / 確定** キーを 1 回押してください。設定が登録され、次の設定画面が表示されます。



紙送り / 確定 キーを押さないかぎり、設定は登録されませんのでご注意ください。

オンライン キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

設定モード キーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

印字速度設定

06 IPS

印字速度設定

プリンタの印字速度を設定します。設定値は 02 ～ 10 インチ / 秒（50 ～ 250mm / 秒）で、1 インチ / 秒ごとに設定できます。

用紙または印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、速度を下げてください。

- ▲ ▼ キーを押すごとに、設定値を増減します。
- 02IPS が一番遅く、10IPS が一番速くなります。
- IPS はインチ／秒のことです。
- **紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、06 です。

印字濃度設定

1 2 3

印字濃度設定

プリンタの印字濃度を設定します。印字の濃度（濃さ）を 1 ～ 3 で設定できます。

- ◀ ▶ キーを押して、印字濃度を選びます。
- 1 ～ 3 までの数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。1 が一番薄く、3 が一番濃くなります。
- **紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、2 です。

基点補正

V: +000 H: +000

基点補正

基点補正とは、用紙に印字する位置を基準設定する操作です。単位は dot 単位です。1dot の長さは機種によって違います。ST308R Plus は 1dot=0.125mm、ST312R Plus は 1dot=0.083mm です。ヘッドの密度により設定範囲が異なりますのでご注意ください。

ST308R Plus : V ± 000 ~ 400dot H ± 000 ~ 400dot

ST312R Plus : V ± 000 ~ 600dot H ± 000 ~ 600dot

基点補正とは

本製品には、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するかを設定します。

V : 印字基準位置から、縦方向に何 dot 離れた位置を基点にして、印字するかを設定します。

“+” と “-” は移動する方向です。

“+” : 印字方向に対し後ろ

“-” : 印字方向に対し前

H : 印字基準位置から、横方向に何 dot 離れた位置を基点にして、印字するかを設定します。

“+” と “-” は移動する方向です。

“+” : フレーム側（奥側）

“-” : カバー側（外側）

- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値が増減されます。
- カーソル位置が符号の下にある場合、“+” “-” を切替えます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、V : +000、H : +000 です。

ゼロスラッシュ

有効

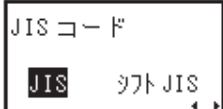
無効

ゼロスラッシュ切替設定

ゼロ（漢字を除く）を “Ø” または “0” に設定できます。

※ 対象フォントは WB 文字、WL 文字、X1 文字、X2 文字、X3 文字となります。

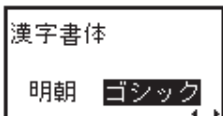
- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効” を選びます。
- “有効” は、スラッシュ付きの “Ø” が印字されます。
- “無効” は、スラッシュなしの “0” が印字されます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。



JIS コード切替設定

取り扱う漢字コードを JIS コード、シフト JIS コードに設定できます。

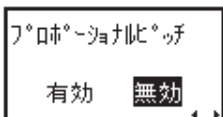
- ◀ ▶ キーを押して、“JIS”、“シフト JIS”を選びます。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、JIS です。



漢字書体切替設定

印字漢字書体のゴシック体、明朝体を設定できます。

- ◀ ▶ キーを押して、“明朝”、“ゴシック”を選びます。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、ゴシックです。



プロポーショナルピッチ設定

プロポーショナルピッチ処理（各文字ごとの横幅で印字するか、文字幅を固定で印字するか）を設定できます。

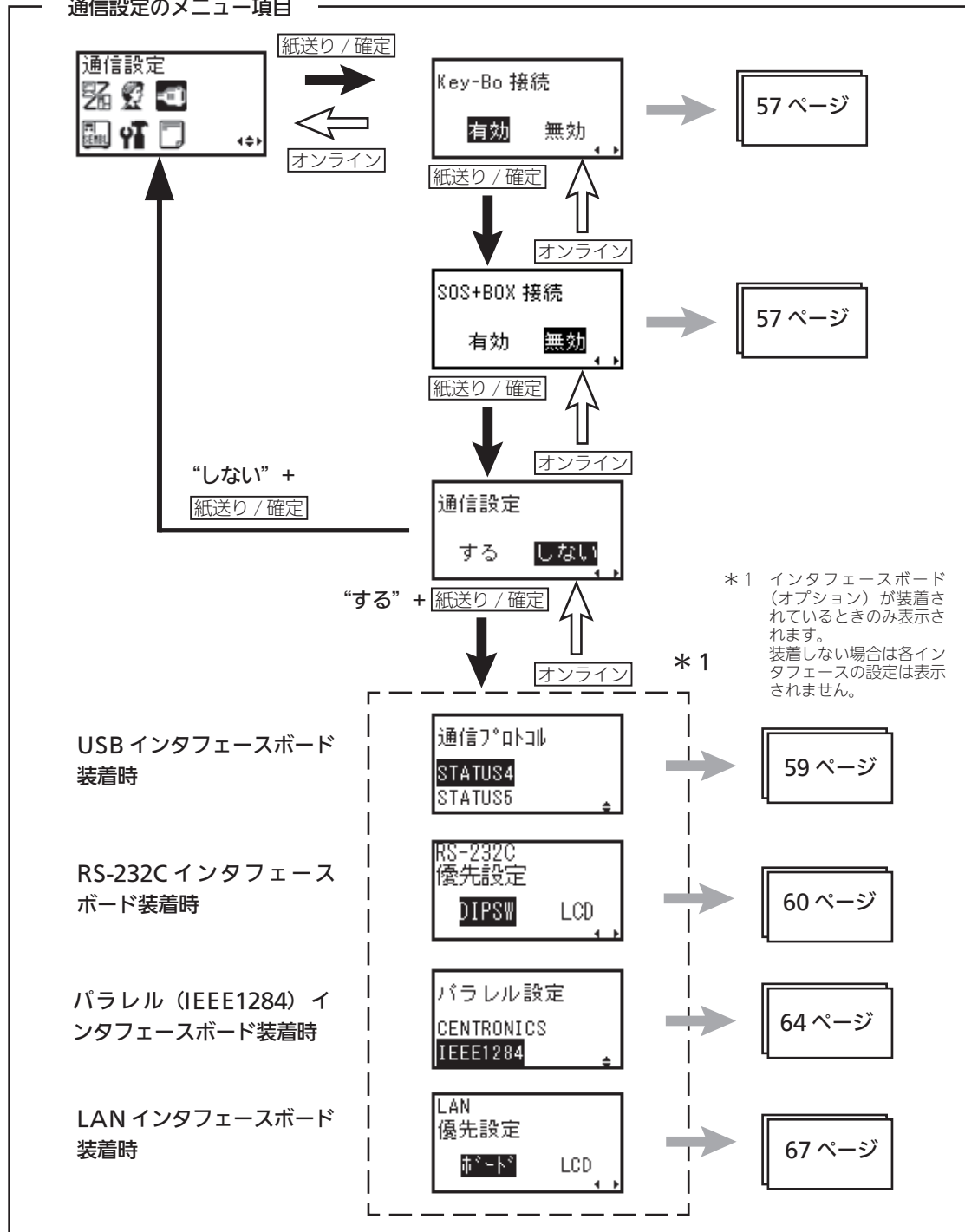
- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、文字によって幅を詰めて印字します。
“無効”は、文字幅を固定にして印字します。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、無効です。



通信設定

プリンタに装着されているインタフェースを自動認識し、各インタフェースの設定を表示します。
それぞれのインタフェース（オプション）の設定をおこないます。

通信設定のメニュー項目



設定の登録

各通信設定を有効にするためには、設定が終わった後、**紙送り / 確定** キーを 1 回押してください。設定が登録され、次の設定画面が表示されます。



紙送り / 確定 キーを押さないかぎり、設定は登録されませんのでご注意ください。

オンライン キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

設定モード キーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

Key-Bo 接続

有効 無効

簡易入力装置 Key-Bo の設定

Key-Bo の接続を設定します。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、簡易入力装置 Key-Bo との接続を自動認識し、Key-Bo が接続されると Key-Bo から送信されるデータのみ有効になります。
“無効”は、簡易入力装置 Key-Bo との接続を認識しません。
- 紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、有効です。

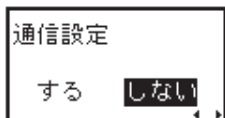
SOS+BOX 接続

有効 **無効**

SOS+BOX の接続設定

SOS+BOX の接続を設定します。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、SOS+BOX 経由での、SOS サーバーとの「かんたん接続」が有効になります。
“無効”は、SOS+BOX 経由での、SOS サーバーとの「かんたん接続」が無効になります。
- 紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。



通信設定

通信設定の変更をおこなうかどうかを選びます。

- ◀ ▶ キーを押して、“する”、“しない”を選びます。
- “する”は、装着しているインタフェースボードの通信設定画面に変わります。
- “しない”は、設定モードメニューに戻ります。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、しないです。

※ インタフェースボードを装着していない場合、“する”を選ぶと設定モードメニューに戻ります。

USB インタフェースボードを装着している場合

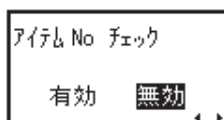
この画面は USB インタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。



通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- ▲ ▼ キーを押して、通信プロトコルを選びます。
 - ・ STATUS4
 - ・ STATUS5
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
- “STATUS4” は、設定モードメニューに戻ります。
- “STATUS5” は、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS4 です。

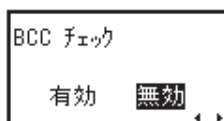


アイテム No チェック設定

アイテム No チェック機能を設定します。

この画面は通信プロトコルで “STATUS5” を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効” を選びます。
 - “有効” は、アイテム No チェック機能を有効にします。
 - “無効” は、アイテム No チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。



BCC チェック設定

BCC チェック機能を設定します。

この画面は通信プロトコルで “STATUS5” を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効” を選びます。
 - “有効” は、BCC チェック機能を有効にします。
 - “無効” は、BCC チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、無効です。

RS-232C インタフェースボードを装着している場合

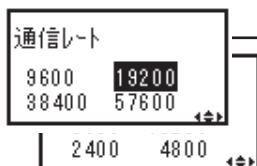
この画面は RS-232C インタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。



RS-232C 優先設定

RS-232C 通信設定でインタフェースボードの設定を優先するか、操作パネルでの設定を優先するかを設定します。

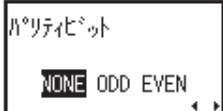
- ◀ ▶ キーを押して、“DIPSW”、“LCD”を選びます。
“DIPSW” は、インタフェースボードの設定を優先します。
“LCD” は、操作パネルでの設定を優先します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- “DIPSW” は、インタフェースボードの通信プロトコル設定が “READY/BUSY” または “XON/XOFF” の場合、「受信バッファ設定」に進みます。それ以外は設定モードメニューに戻ります。
- “LCD” は、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、DIPSW です。



通信レート設定

ボーレートを設定します。

- ▲ ▼ ◀ ▶ キーを押して、ボーレートの値を選びます。
 - ・ 2400bps
 - ・ 4800bps
 - ・ 9600bps
 - ・ 19200bps
 - ・ 38400bps
 - ・ 57600bps
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、19200 です。



パリティビット設定

パリティビットを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、パリティビットの値を選びます。
 - ・ NONE
 - ・ ODD
 - ・ EVEN
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、NONE です。



ストップビット設定

ストップビットを設定します。

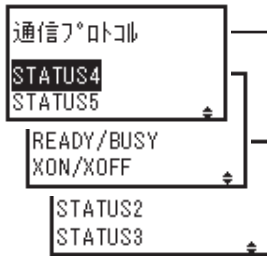
- ◀ ▶ キーを押して、“1BIT”、“2BIT” を選びます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、1BIT です。



キャラクタビット設定

データ長を設定します。

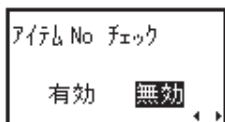
- ◀ ▶ キーを押して、“7BIT”、“8BIT” を選びます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、8BIT です。



通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- **▲ ▼** キーを押して、通信プロトコルを選びます。
 - ・ READY/BUSY
 - ・ XON/XOFF
 - ・ STATUS2
 - ・ STATUS3
 - ・ STATUS4
 - ・ STATUS5
- **紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 設定値が“READY/BUSY”または“XON/XOFF”の場合は「受信バッファ設定」に進みます。
- “STATUS5”は、「アイテム No チェック設定」に進みます。
- その他を選ぶと設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、STATUS4 です。

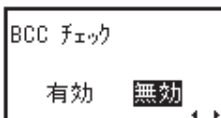


アイテム No チェック設定

アイテム No チェック機能を設定します。

この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

- **◀ ▶** キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
 - “有効”は、アイテム No チェック機能を有効にします。
 - “無効”は、アイテム No チェック機能を無効にします。
- **紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

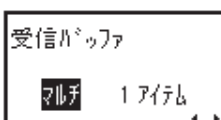


BCC チェック設定

BCC チェック機能を設定します。

この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、無効です。



受信バッファ設定

受信バッファタイプを設定します。

この画面は通信プロトコルで“READY/BUSY”または“XON/XOFF”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“マルチ”、“1 アイテム”を選びます。
“マルチ”は、マルチ受信です。
“1 アイテム”は、1 アイテム受信です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、マルチです。

パラレル (IEEE1284) インタフェースボードを装着している場合

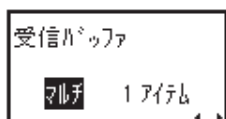
この画面はパラレル (IEEE1284) インタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。



パラレル設定

IEEE1284 の SELECT IN 信号の動作を設定します。

- ▲ ▼ キーを押して、動作を選びます。
“CENTRONICS” は、SELECT IN 信号が常時 Low となります。
“IEEE1284” は、SELECT IN 信号が互換モードで Low、それ以外で High となります。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、IEEE1284 です。



受信バッファ設定

受信バッファタイプを設定します。

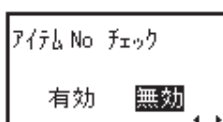
- ◀ ▶ キーを押して、“マルチ”、“1 アイテム” を選びます。
“マルチ” は、マルチ受信です。
“1 アイテム” は、1 アイテム受信です。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- パラレル設定で“CENTRONICS”または受信バッファ設定で“1 アイテム”を選ぶと、「ACK 信号幅設定」に進みます。
- パラレル設定で“IEEE1284”かつ受信バッファ設定で“マルチ”を選ぶと、通信プロトコルの設定に進みます。
- 初期値は、マルチです。



通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- キーを押して、通信プロトコルを選びます。
 - ・ STATUS4
 - ・ STATUS5
- キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- “STATUS4” は、設定モードメニューに戻ります。
- “STATUS5” は、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS4 です。

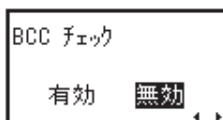


アイテム No チェック設定

アイテム No チェック機能を設定します。

この画面は通信プロトコルで “STATUS5” を設定したときのみ表示されます。

- キーを押して、“有効”、“無効” を選びます。
 - “有効” は、アイテム No チェック機能を有効にします。
 - “無効” は、アイテム No チェック機能を無効にします。
- キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。



BCC チェック設定

BCC チェック機能を設定します。

この画面は通信プロトコルで “STATUS5” を設定したときのみ表示されます。

- キーを押して、“有効”、“無効” を選びます。
 - “有効” は、BCC チェック機能を有効にします。
 - “無効” は、BCC チェック機能を無効にします。
- キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、無効です。



ACK 信号幅設定

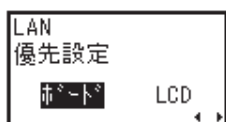
ACK 信号幅を設定します。

本画面は“CENTRONICS”または、受信バッファに“1 アイテム”を選択したときのみ表示されます。

-   キーを押すごとに、設定値が0.1 単位で増減します。
- 設定範囲は、00.5 ～ 12.0 です。
-  キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、00.5 です。

LAN インタフェースボードを装着している場合

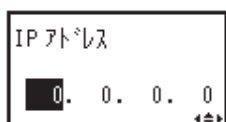
この画面は LAN インタフェースボードを接続した場合のみ表示されます。変更した設定は、電源の再起動で有効になります。



LAN 優先設定

LAN 通信設定でインタフェースボードの設定を優先するか、操作パネルでの設定を優先するかを設定します。

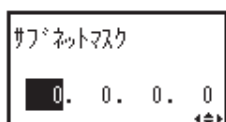
- ◀ ▶ キーを押して、“ボード”、“LCD” を選びます。
“ボード” はインタフェースボードの設定を優先します。
“LCD” は操作パネルでの設定を優先します。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- “ボード” は、「通信プロトコル設定」に進みます。
- “LCD” は、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、ボードです。



IP アドレス設定

IP アドレスを設定します。

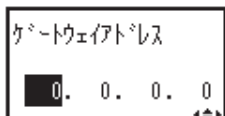
- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値が増減されます。
- 設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“000.000.000.00” です。



サブネットマスク設定

サブネットマスクを設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値が増減されます。
- 設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“000.000.000.000” です。



ゲートウェイアドレス設定

ゲートウェイアドレスを設定します。

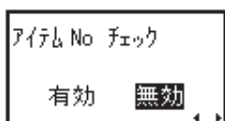
- ◀ ▶ キーを押して、希望の桁にカーソルを移動します。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、カーソル位置の値が増減されます。
- 設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- LAN インタフェースボードを装着している場合、「通信プロトコル設定」が表示されます。
- 初期値は、“000.000.000.000” です。



通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- ▲ ▼ キーを押して、通信プロトコルを選びます。
 - ・ STATUS3
 - ・ STATUS4
 - ・ STATUS5
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- “STATUS3” は、設定モードメニューに戻ります。
- “STATUS4” は、「プリンタステータス返送タイミング設定」に進みます。
- “STATUS5” は、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、STATUS4 です。

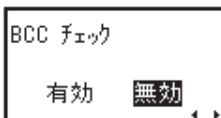


アイテム No チェック設定

アイテム No チェック機能を設定します。

この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
 - “有効” は、アイテム No チェック機能を有効にします。
 - “無効” は、アイテム No チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

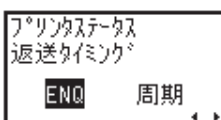


BCC チェック設定

BCC チェック機能を設定します。

この画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、無効です。



プリンタステータス返送タイミング設定

ステータス情報をコンピュータに返送するタイミングを設定します。

この画面は通信プロトコルで“STATUS4”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、“ENQ”、“周期”を選びます。
“ENQ”は、コンピュータからステータス要求（ENQ）受信により返送します。
“周期”は、500m 秒間隔でプリンタよりコンピュータにステータスを返送します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、ENQ です。

本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずお客様が管理するネットワークを経由し接続してください。

※ お客様が管理するネットワークとは、以下などによりお客様とお客様のネットワークが保護されているネットワークを意味します。

- ファイアウォールやルーターなどでインターネットから分離され保護されたネットワーク（ネットワークの分離）
- ネットワークに接続される機器（ファイアウォール、ルーター、DHCP や NTP などの各種サーバーなど）やコンピュータは脆弱性対応がおこなわれている（構成管理）
- ネットワークへの接続やログインは、許可された機器やユーザーのみ可能（機密管理）
- ネットワークの状態が監視されている（障害管理）

詳細は、以下のガイドラインをご覧ください。

「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン」（経済産業省）



SEMBL モード

SEMBL (Sato EMbedded Basic Language) とは、サトーの組込み式ベーシック言語の呼称であり、本機能を使用することにより、お客様個別の運用が実現できる機能です。

詳細は、各担当営業にお問い合わせください。

SEMBL のプログラムが登録されている場合に使用できます。



起動プログラム設定

SEMBL モードを起動した際に起動するプログラムを選びます。

- キーを押して、プログラムを選びます。
 - ・ “NONE” : 起動プログラムを指定しません。
 - ・ “XXXXXXXX. BAS” : プログラムを指定します。XXXXXXXX. BAS は本体メモリに登録されているプログラム名です。
- キーを押すと設定が登録されます。
SEMBL モードへ移行し、選択したプログラムを実行します。
- 初期値は、NONE です。

設定の登録

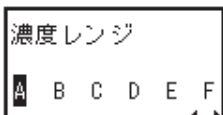
各拡張設定を有効にするためには、設定が終わった後、**紙送り / 確定** キーを 紙送り/確定
1 回押してください。設定が登録され、次の設定画面が表示されます。



紙送り / 確定 キーを押さないかぎり、設定は登録されませんのでご注意ください。

オンライン キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。

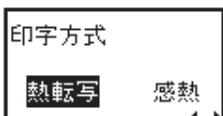
設定モード キーを押すと、設定値を登録しないで設定モードメニューに戻ります。



濃度レンジ設定

印字の濃度レンジを設定します。基本的には設定変更不要です。

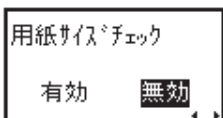
- **◀ ▶** キーを押して、濃度レンジの値を選びます。
- **紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、A です。



印字方式設定

印字方式を設定します。

- **◀ ▶** キーを押して、“熱転写”、“感熱”を選びます。
- **紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、熱転写です。



用紙サイズチェック設定

用紙サイズチェックの有効／無効を設定します。

- **◀ ▶** キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
- **紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

コマンドエラー表示

有効

無効

コマンドエラー表示設定

コマンドエラー表示の有効／無効を設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、コマンドエラーを検知したときコマンドエラーとして発行動作を停止します。
“無効”は、コマンドエラーを検知したときワーニングアイコンを表示して発行動作を続行します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、無効です。

給紙後オンライン

有効

無効

給紙後オンライン設定

用紙を自動給紙したあとのプリンタ状態を設定します。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、自動給紙後、プリンタをオンライン状態にします。
“無効”は、自動給紙後、プリンタをオフライン状態にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、有効です。

基準位置移動後の発行動作

停止

継続

基準位置移動後の発行動作設定

<#> コマンドで基準位置を変更した直後の動作を設定します。

SBPL コマンドについては販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

- ◀ ▶ キーを押して、“停止”、“継続”を選びます。
“停止”は、基準位置変更後、発行動作を一時停止します。
“継続”は、基準位置変更後、発行動作を継続します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、継続です。

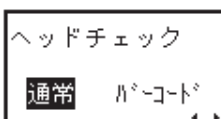


ヘッドチェック設定

ヘッドチェック機能の有効／無効の設定をします。

- ◀ ▶ キーを押して、“有効”、“無効”を選びます。
“有効”は、ヘッドチェック機能を有効にします。
“無効”は、ヘッドチェック機能を無効にします。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 設定値を保存して、設定値が“有効”の場合は次の設定へ、“無効”の場合は「言語選択の設定」へ変わります。
- 初期値は、有効です。

※ ヘッドチェック機能については次ページをご覧ください。



ヘッドチェック範囲設定

ヘッドチェックをおこなう範囲を設定します。

この画面はヘッドチェック設定で“有効”を設定したときのみ表示されます。

- ◀ ▶ キーを押して、範囲を選びます。
 - ・ “通常”は、印字領域をチェックします。
 - ・ “バーコード”は、バーコード印字領域のみをチェックします。バーコード印字領域に設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、ヘッドチェックされません。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、通常です。

ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証するものではありません。定期的に読取りチェックをお願いします（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります）。

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキナ読取りをおこなって確認してください。

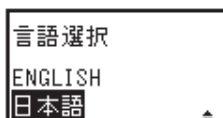
＜ヘッドエラー発生時の対処方法＞

(1) ヘッドチェック範囲設定が通常の場合

- **紙送り / 確定** キーを 5 秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。
 - ・ “通常” は、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。
再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。
 - ・ “バーコード” は、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替えて発行を再開します。
- **オンライン** キーと **紙送り / 確定** キーを同時に 5 秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

(2) ヘッドチェック範囲設定がバーコードの場合

- **オンライン** キーと **紙送り / 確定** キーを同時に 5 秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。



言語選択の設定

ディスプレイの表示言語を設定します。

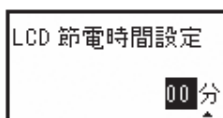
- ▲ ▼ キーを押して、“ENGLISH”、“日本語” を選びます。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、日本語です。



プロトコルコード設定

プロトコルコードのコード設定をします。

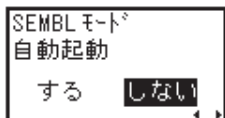
- ▲ ▼ キーを押して、“STANDARD”、“NON-STANDARD” を選びます。
“STANDARD” は、スタンダードコードとなります。
“NON-STANDARD” は、ノンスタンダードコードとなります。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、STANDARD です。



LCD 節電時間の設定

一定時間操作がおこなわれない状態が続いたときに LCD バックライトを消灯して消費電力を節減します。

- ▲ ▼ キーを押して、設定値を入力します。
- 設定範囲は、00 ～ 15 です。
- “00” は、本機能は無効になり、常時 LCD バックライトが点灯します。
- 紙送り / 確定 キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、00 です。



SEMBL モードの自動起動設定

電源投入時に SEMBL モードを自動起動するかどうかを設定します。

- キーを押して、“する”、“しない”を選びます。
- キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- “する” は、次の設定画面に変わります。
- “しない” は、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、しないです。



起動プログラム設定

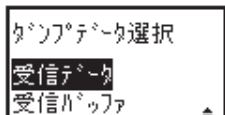
SEMBL モードを起動した際に起動するプログラムを選びます。

- キーを押して、プログラムを選びます。
 - ・ NONE : 起動プログラムを指定しません。
 - ・ XXXXXXXX. BAS : プログラムを指定します。XXXXXXXX. BAS は本体メモリに登録されているプログラム名です。
- キーを押すと設定が登録され、設定モードメニューに戻ります。
- 初期値は、NONE です。



HEX ダンプ印字

ダンプ印字とは、受信したデータを HEX コードで印字することです。ここではダンプデータの設定をおこないます。



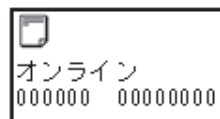
ダンプデータ選択

ダンプ印字するデータを選びます。

- ▲ ▼ キーを押して、“受信データ”、“受信バッファ”を選びます。
 - ・“受信データ”は、受信したデータをダンプ印字します。
 - ・“受信バッファ”は、受信済みの印字データ（1 アイテム分）をダンプ印字します。
受信済みのデータがない場合は、“受信バッファ”は選べません。
- [紙送り / 確定] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- [オンライン] キーを押すと、設定モードメニューに戻ります。

右図は HEX ダンプ印字状態の画面です。

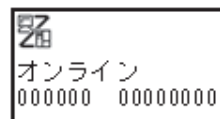
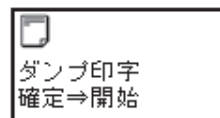
HEX ダンプ印字後、[オンライン] キーを押し、オフライン状態にし、[設定モード] キーを押すと設定モードメニューに戻ります。



受信バッファおよび内部バッファの場合

[紙送り / 確定] キーを押すと HEX ダンプ印字をおこないます。

発行後、自動でオンライン状態に戻ります。

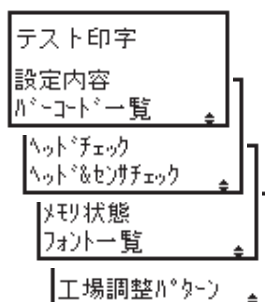


テスト印字モード

テスト印字を開始します。

- ① テスト印字モードに入るには、**紙送り / 確定** キーを押しながら、電源を ON にします。
- ② **▲ ▼** キーを押すごとに、選択項目が切替わります。テスト印字できる項目は次のとおりです。

テスト印字パターン	印字内容
設定内容	本プリンタの設定内容を印字します。
バーコード一覧	本プリンタに搭載しているバーコードを印字します。
ヘッドチェック	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。
ヘッドチェック & センサチェック	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンとセンサレベル値を印字します。
メモリ状態	本プリンタに搭載しているメモリ内容を印字します。
フォント一覧	本プリンタに搭載しているフォント内容を印字します。
工場調整パターン	本プリンタの機器情報を印字します。



- ③ **紙送り / 確定** キーを押し、設定を確定します。

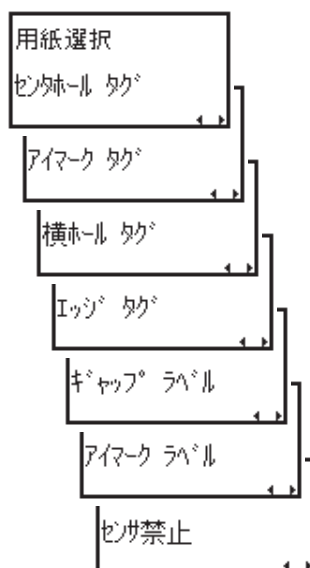
用紙選択設定画面が表示されます。

紙送り/確定



- ④ **◀ ▶** キーを押すごとに、用紙種類（センサ）が切替わります。テスト印字できる用紙は次のとおりです。

- ・ センタホールタグ
- ・ アイマークタグ
- ・ 横ホールタグ
- ・ エッジタグ
- ・ ギャップラベル
- ・ アイマークラベル
- ・ センサ禁止



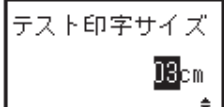
紙送り/確定



- ⑤ **紙送り / 確定** キーを押して、印字する項目を確定します。

選択した項目により、それぞれの設定に移行します。

- “設定内容”、“バーコード一覧”、“ヘッドチェック”、“ヘッド & センサチェック” を選択した場合：「テスト印字サイズ選択 1」
- “メモリ内容”、“フォント一覧” を選択した場合：「仕分け動作設定」
- “工場調整パターン” を選択した場合：「テスト印字サイズ選択 2」

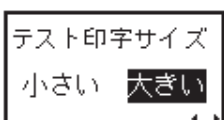


テスト印字サイズ選択 1

テスト印字を発行するサイズを選びます。

「テスト印字モード」で、“設定内容”、“バーコード一覧”、“ヘッドチェック”、“ヘッド & センサチェック” を選択した場合に表示します。

- **▲ ▼** キーを押すごとに、設定値が増減します。
- 設定範囲は、03 ～ 08 です。
- **紙送り / 確定** キーを押して、設定を確定します。仕分け動作設定画面に変わります。
- 初期値は、03 です。

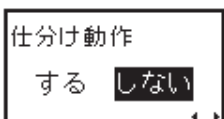


テスト印字サイズ選択 2

テスト印字幅を選びます。

「テスト印字モード」で“工場調整パターン” を選択した場合に表示します。

- **◀ ▶** キーを押して、印字サイズを選びます。
“大きい”：8cm 幅のサイズでテスト印字します。
“小さい”：3cm 幅のサイズでテスト印字します。
- **紙送り / 確定** キーを押して、設定を確定します。仕分け動作設定画面に変わります。
- 初期値は、大きいです。

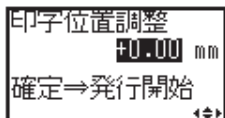


仕分け動作設定

テスト印字中に仕分け動作するかどうかを選びます。

用紙種類がタグのときにのみ設定が有効になります。ラベル選択時は動作しません。

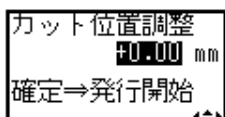
- **◀ ▶** キーを押して、仕分け動作を選びます。
- **紙送り / 確定** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、しないです。



印字位置調整

印字位置を調整します。

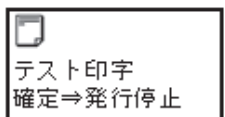
- ◀ ▶ キーを押すごとに、調整項目（印字位置⇄カット位置）を切替えます。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、設定値が 0.25mm 単位で増減します。
- 設定範囲は、－ 3.75 ～ +3.75 です。
- **紙送り / 確定** キーを押し、設定を確定します。テスト印字発行画面に変わります。
- 初期値は、± 0.00 です。



カット位置調整

カット位置を調整します。

- ◀ ▶ キーを押すごとに、調整項目（印字位置⇄カット位置）を切替えます。
- ▲ ▼ キーを押すごとに、設定値が 0.25mm 単位で増減します。
- 設定範囲は、－ 3.75 ～ +3.75 です。
- **紙送り / 確定** キーを押し、設定を確定します。テスト印字発行画面に変わります。
- 初期値は、± 0.00 です。



テスト印字発行

テスト印字発行中の画面です。

- **紙送り / 確定** キーを押すと、テスト印字を停止します。
- テスト印字を停止すると、画面は印字位置調整画面またはカット位置調整画面に戻ります。

初期化設定モード

プリンタの設定を初期化します。初期値とは、本製品がはじめから記憶している設定値です。この初期値設定をおこなうと、今までの印字条件の設定値を本製品が記憶している設定値に戻します。

通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

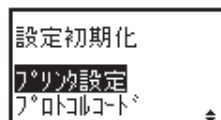
プリンタの電源が入っていたら、電源を切ってください。

① **オンライン** キーと **紙送り / 確定** キーを押しながら、電源を ON にします。

② **▲ ▼** キーを押して、“プリンタ設定”、“プロトコルコード” を選びます。

“プリンタ設定” は、プリンタの設定を初期化します。

“プロトコルコード” は、プロトコルコードを初期化します。



③ **紙送り / 確定** キーを押して、初期化する項目を確定します。

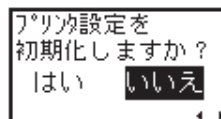
選択した項目により、それぞれの設定に移行します。

- “プリンタ設定” を設定した場合：「プリンタ設定初期化の場合」
- “プロトコルコード” を設定した場合：「プロトコルコード初期化の場合」

プリンタ設定初期化の場合

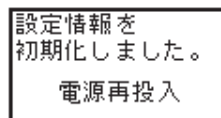
プリンタの設定を初期化します。

① **◀ ▶** キーを押して、“はい”、“いいえ” を選びます。

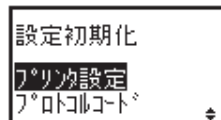


② **紙送り / 確定** キーを押して、確定します。

“はい” は、初期化したあとに完了画面が表示されます。



“いいえ” は、設定初期化画面に戻ります。

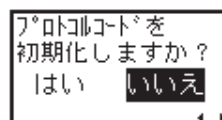


③ 電源を再投入します。

プロトコルコード初期化の場合

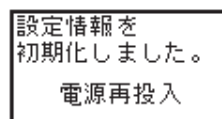
プロトコルコードを初期化します。

- ①   キーを押して、“はい”、“いいえ”を選びます。

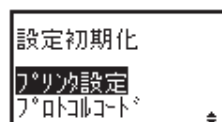


- ②  キーを押して、確定します。

“はい”は、初期化したあとに完了画面が表示されます。



“いいえ”は、設定初期化画面に戻ります。



- ③ 電源を再投入します。

初期設定値一覧

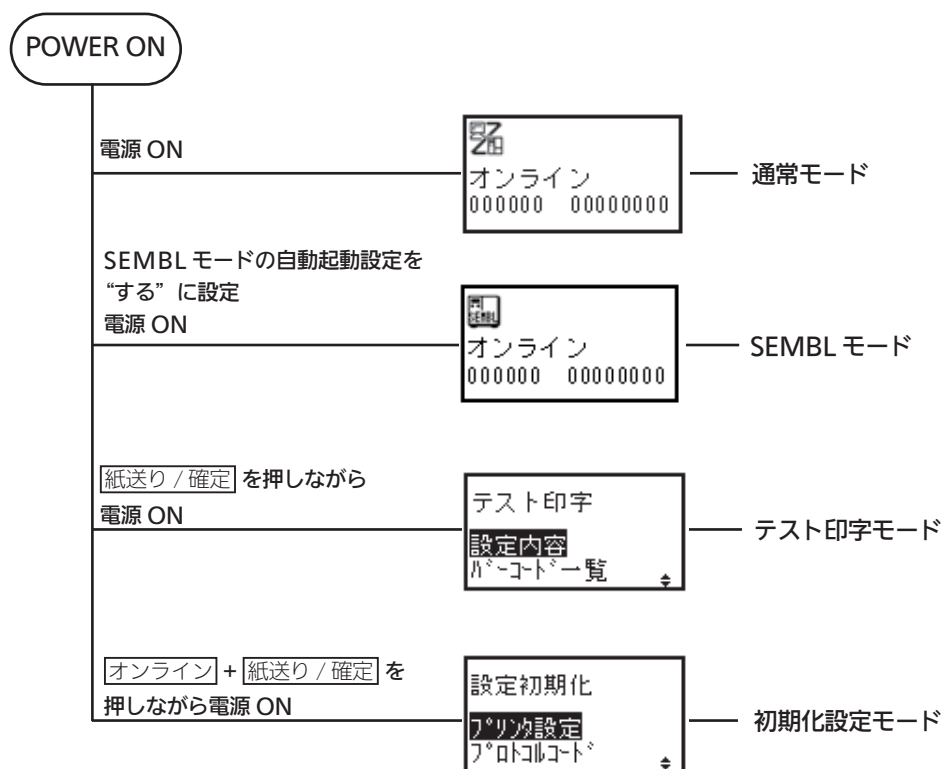
プリンタ設定、通信設定、拡張設定の各設定値が次の初期値に戻ります。

設定項目	初期値	参照ページ
プリンタ設定		
印字速度	06IPS	53
印字濃度	2	53
基点補正	V:+000 H:+000	54
ゼロスラッシュ	無効	54
JISコード	JIS	55
漢字書体	ゴシック	55
プロポーショナルピッチ	無効	55
通信設定		
Key-Bo接続	有効	57
SOS+BOX接続	無効	57
USB		
通信プロトコル	STATUS4	59
アイテムNo チェック (STATUS5)	無効	59
BCCチェック (STATUS5)	無効	59
RS-232C		
RS-232C優先設定	DIPSW	60
通信レート (LCD)	19200	60
パリティビット (LCD)	NONE	61
ストップビット (LCD)	1BIT	61
キャラクタビット (LCD)	8BIT	61
通信プロトコル	STATUS4	62
アイテムNo チェック (STATUS5)	無効	62
BCCチェック (STATUS5)	無効	63
受信バッファ (READY/BUSY、XON/XOFF)	マルチ	63

設定項目	初期値	参照ページ
通信設定		
パラレル		
パラレル設定	IEEE1284	64
受信バッファ	マルチ	64
通信プロトコル	STATUS4	65
アイテムNo チェック (STATUS5)	無効	65
BCCチェック (STATUS5)	無効	65
ACK信号幅	00.5 μ s	66
LAN		
LAN優先設定	インタフェースボード上の設定優先 (DSW)	67
IPアドレス (LCD)	000.000.000.000	67
サブネットマスク (LCD)	000.000.000.000	67
ゲートウェイアドレス (LCD)	000.000.000.000	68
通信プロトコル	STATUS4	68
アイテムNo チェック (STATUS5)	無効	68
BCCチェック (STATUS5)	無効	69
プリンタステータス返送タイミング (STATUS4)	ENQ	69
拡張設定		
濃度レンジ	A	72
印字方式	熱転写	72
用紙サイズチェック	無効	72
コマンドエラー表示	無効	73
給紙後オンライン	有効	73
基準位置移動後の発行動作	継続	73
ヘッドチェック	有効 (通常)	74
言語選択	日本語	76
プロトコルコード	STANDARD	76
LCD節電時間設定	00分	76
SEMBLモード自動起動	しない	77

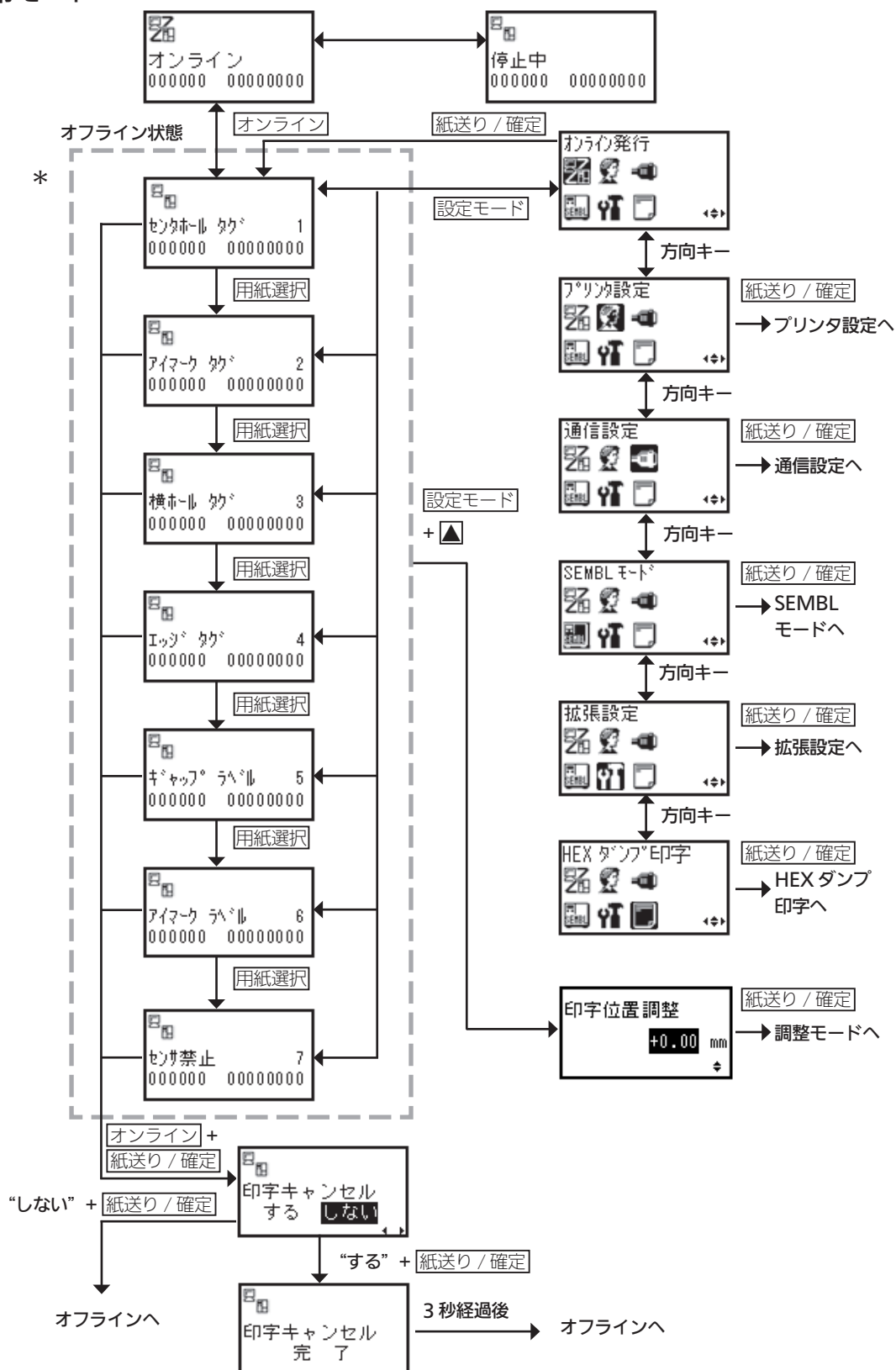
ディスプレイ遷移図

LCD モード一覧

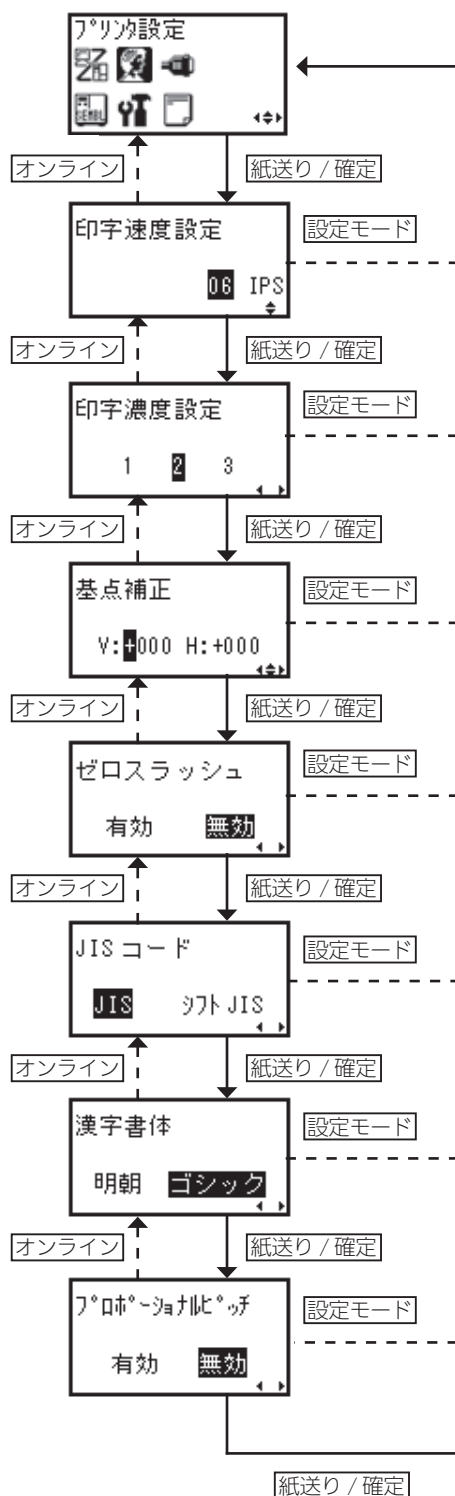


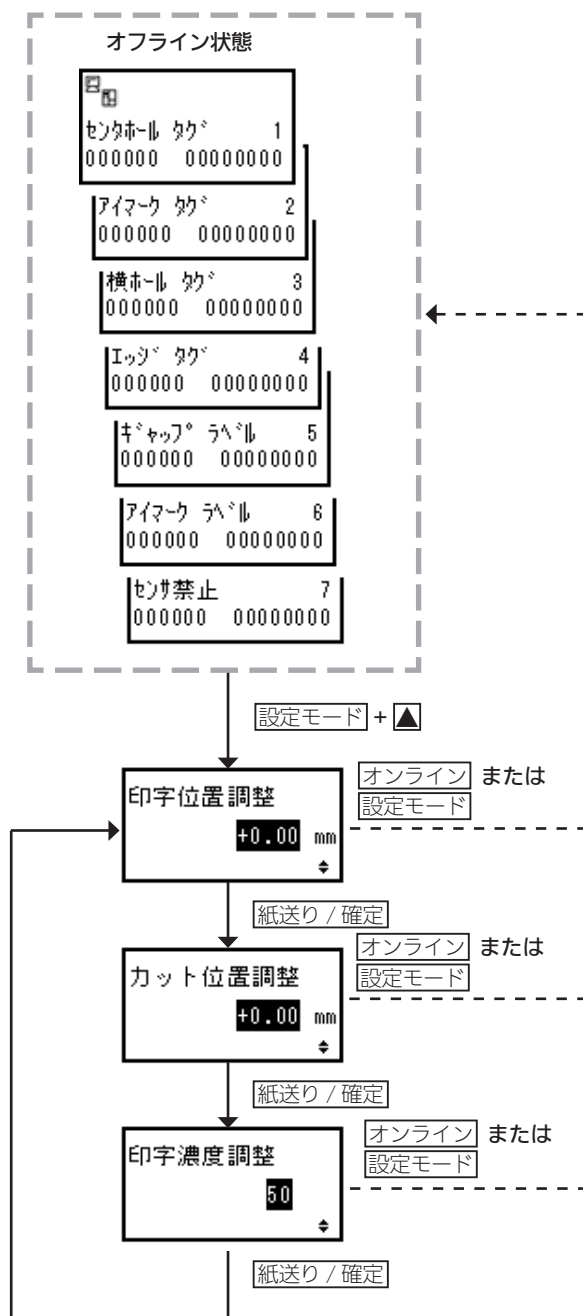
通常モード

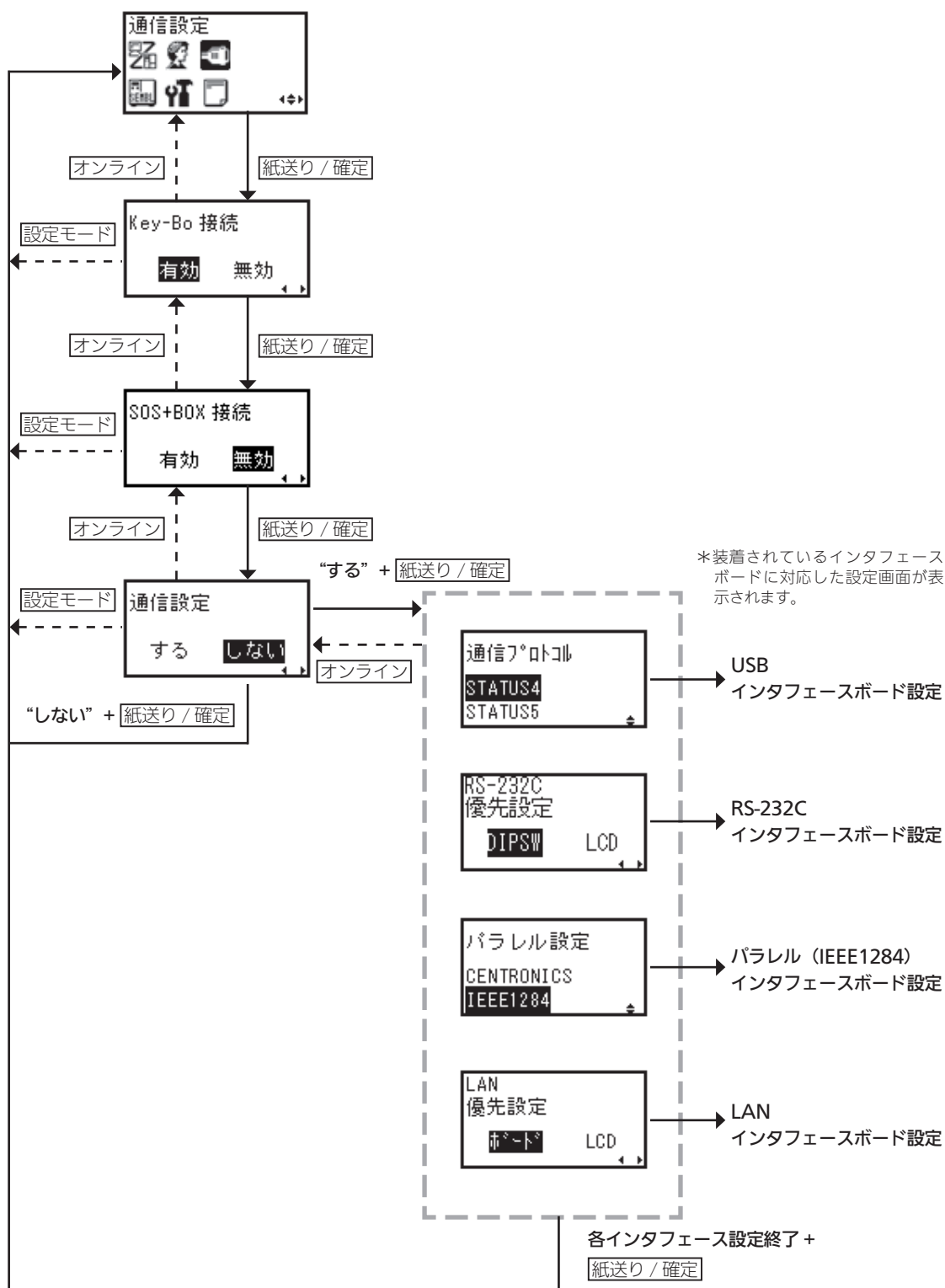
印字停止要求／解除



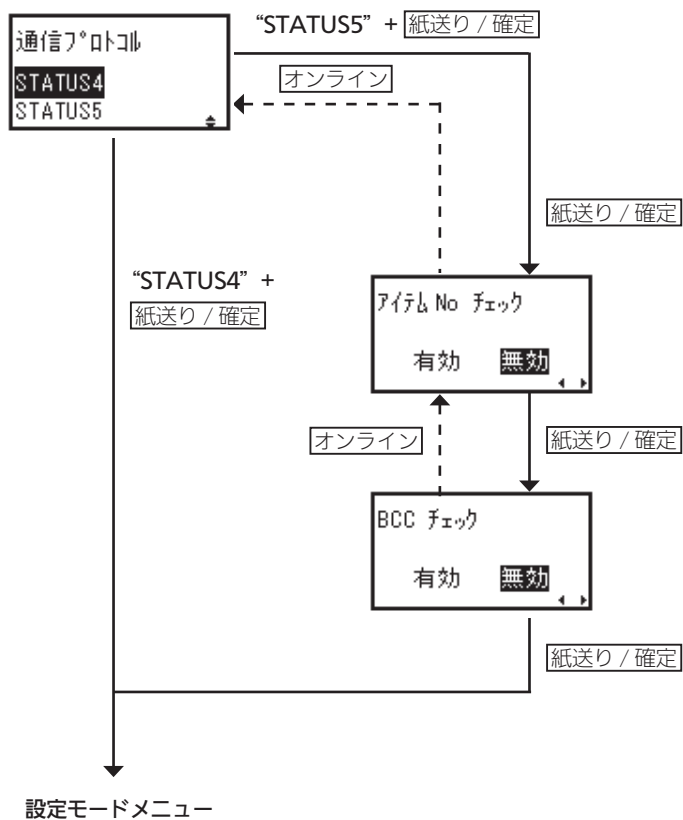
* 選択した用紙種類によって表示順が変わることがあります。



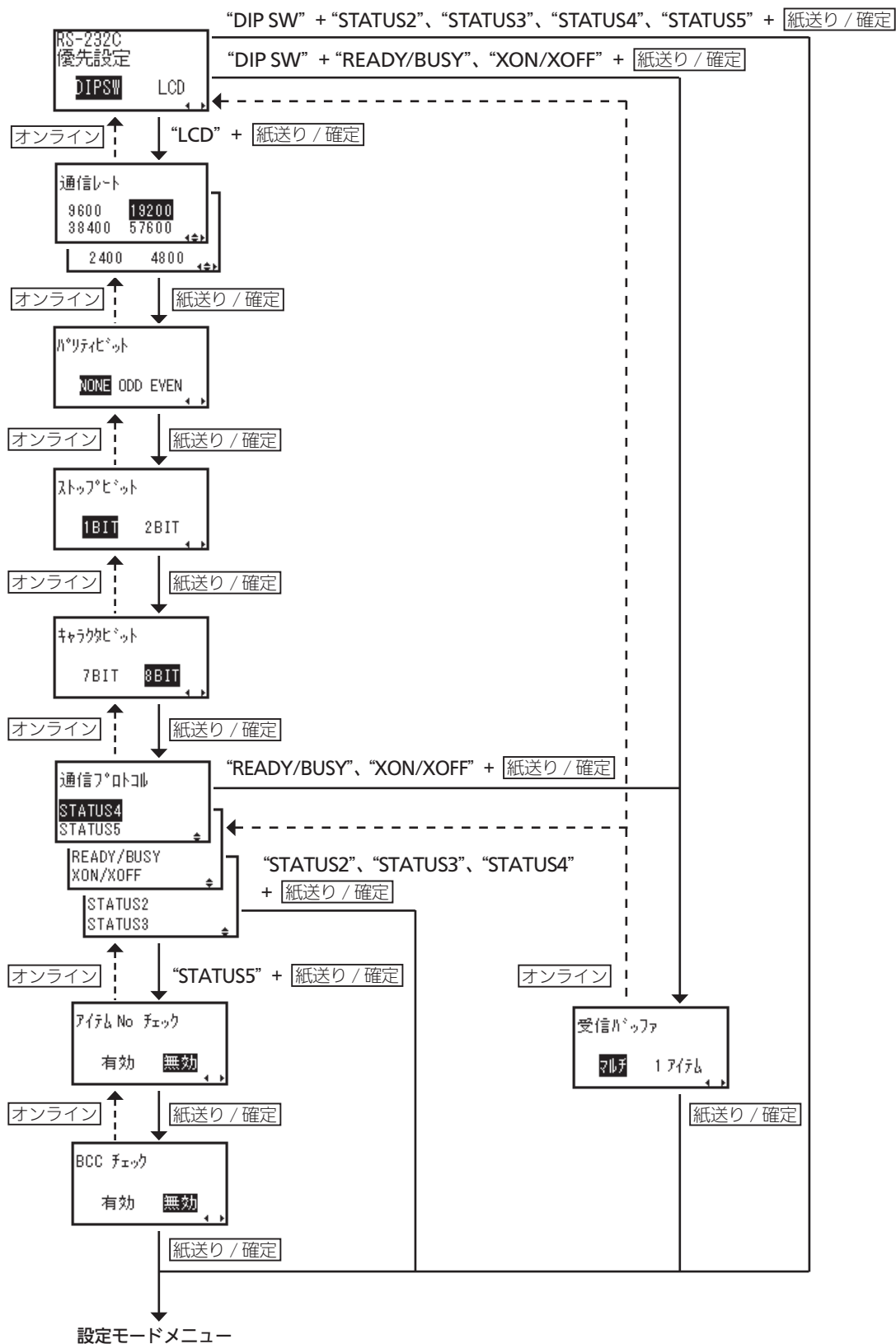




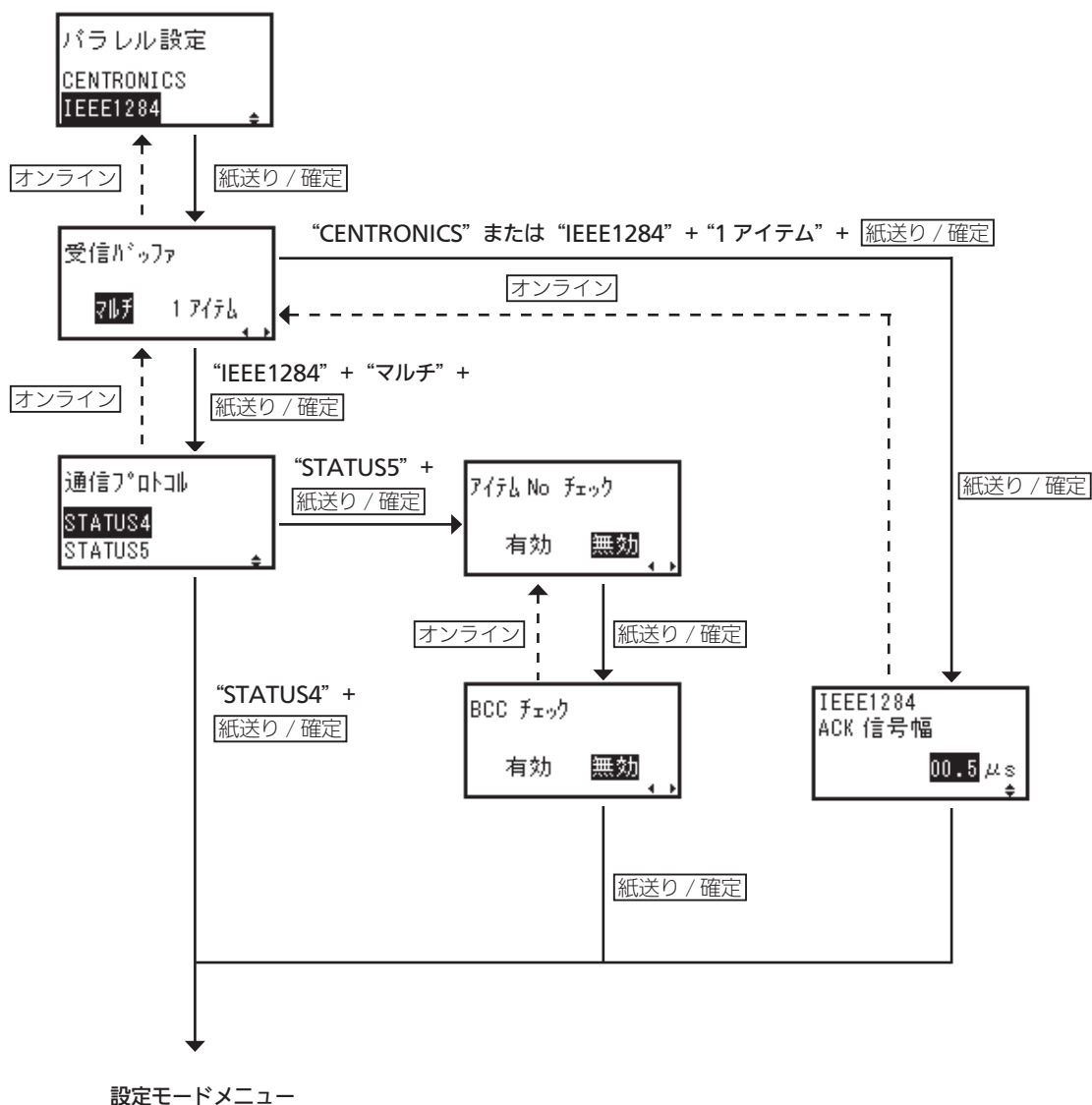
USB インタフェースボード設定



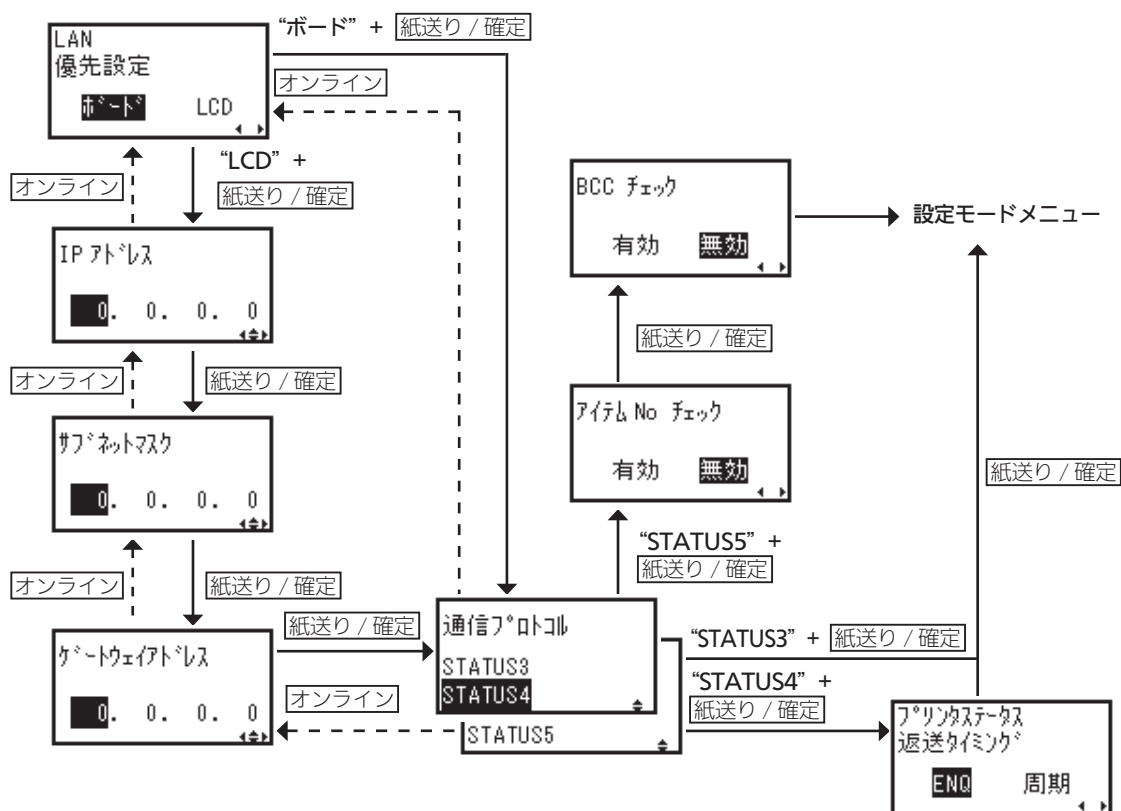
RS-232C インタフェースボード設定



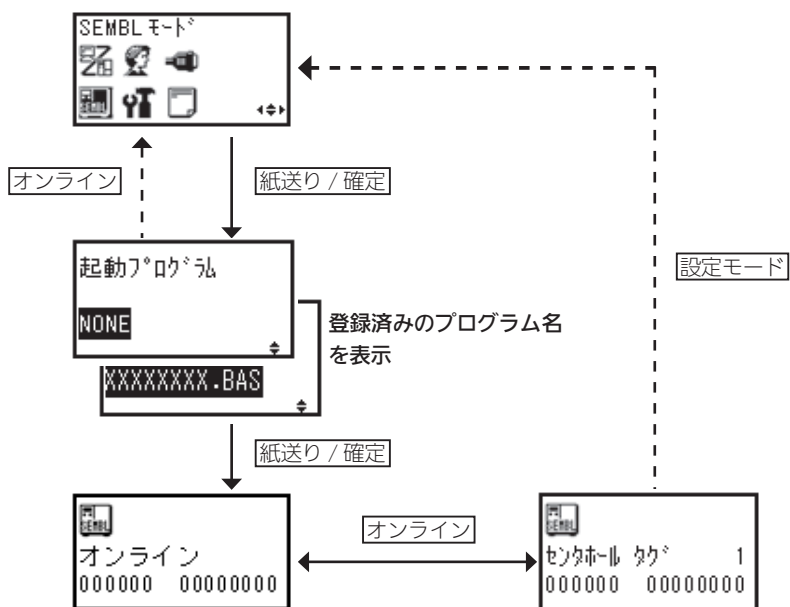
パラレル（IEEE1284）インタフェースボード設定

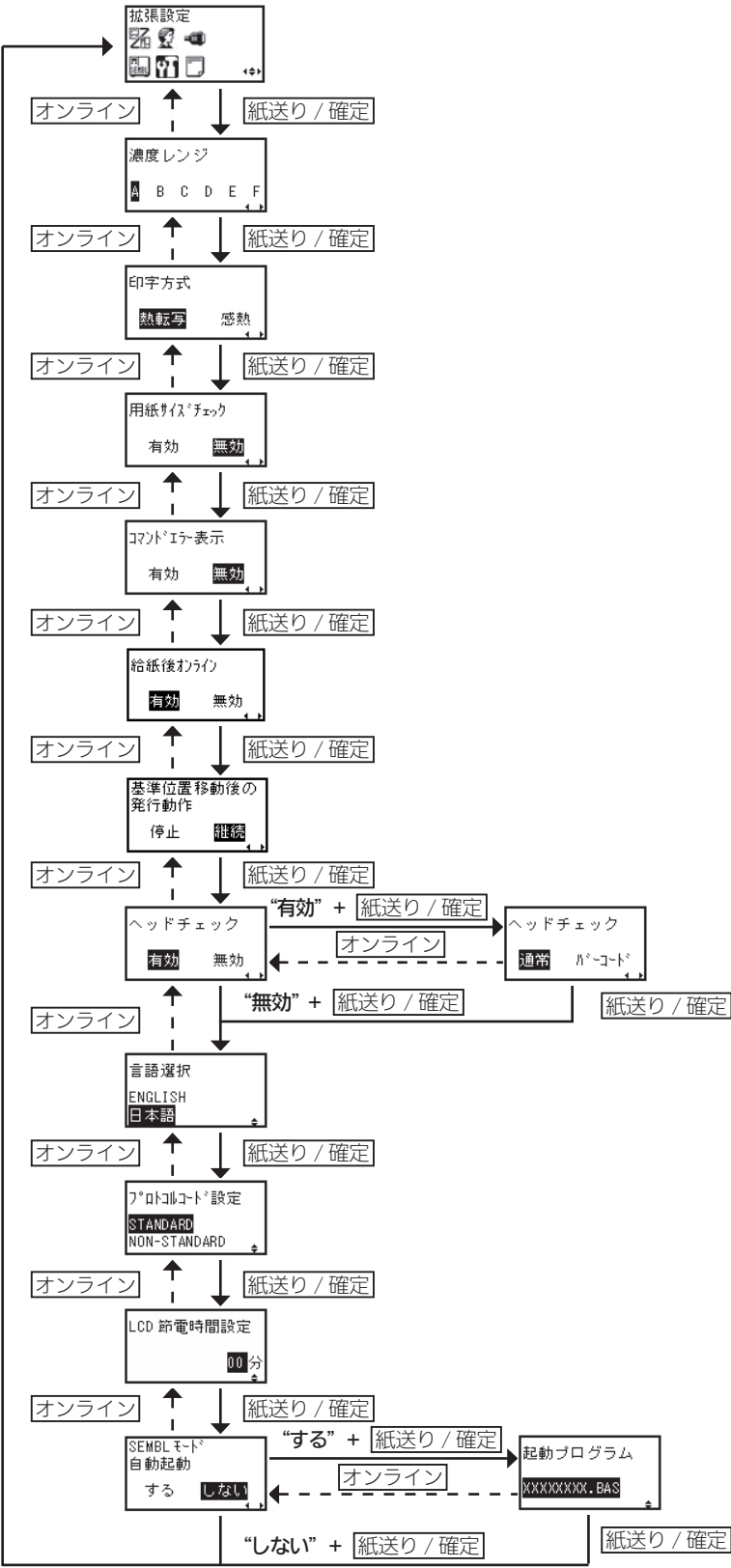


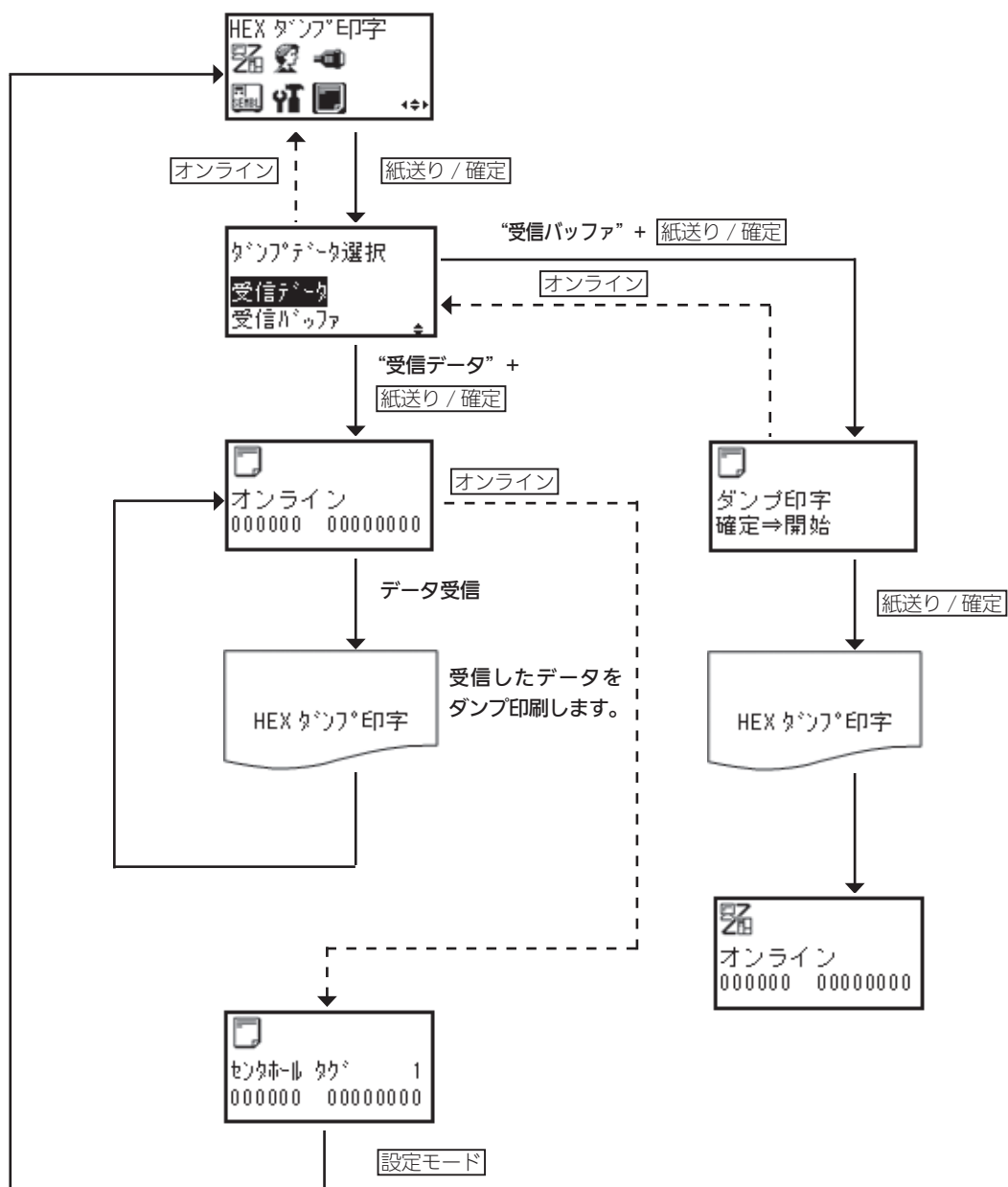
LAN インタフェースボード設定



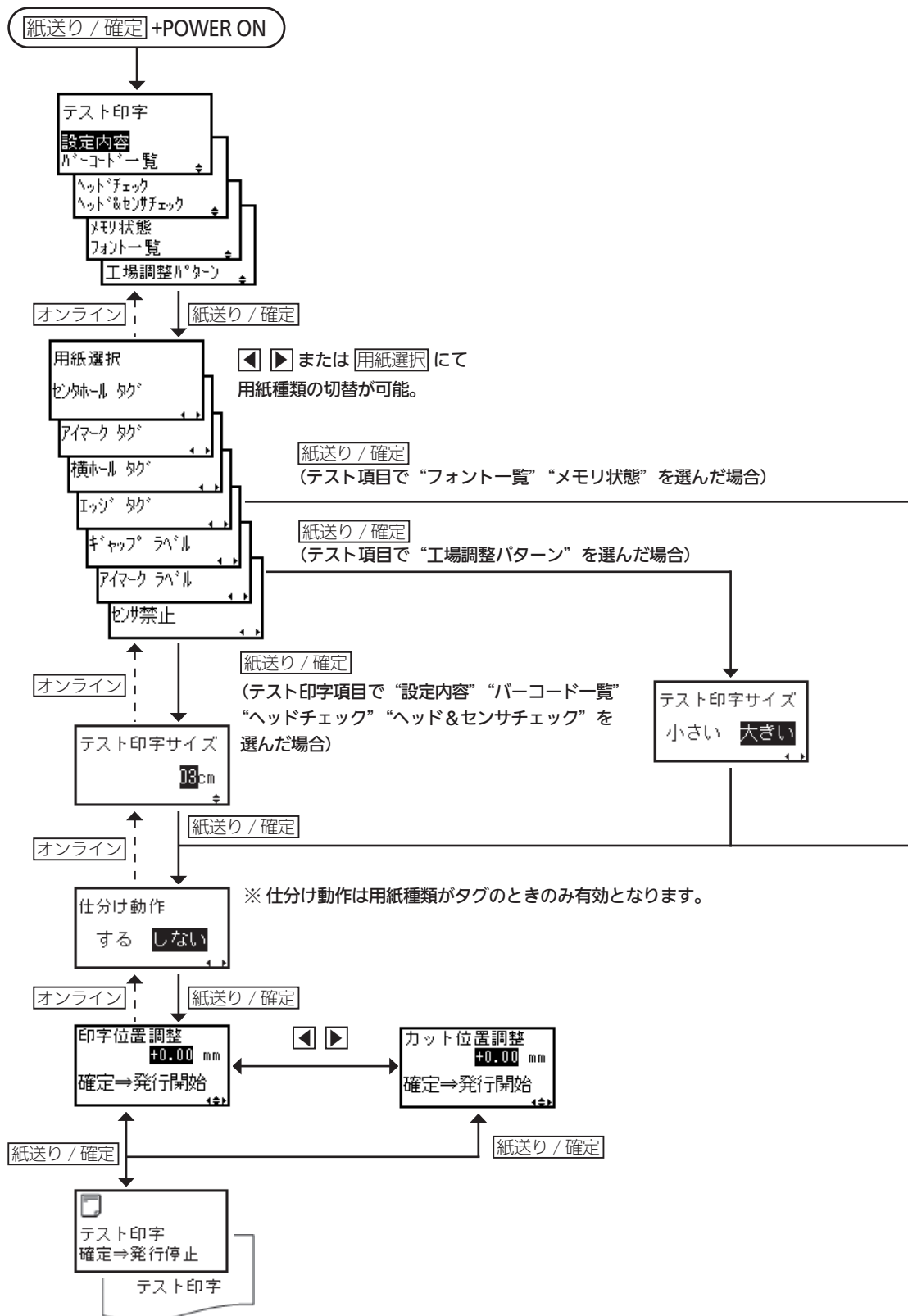
※ 各画面で **設定モード** キーを押すと設定モードメニュー画面に戻ります。

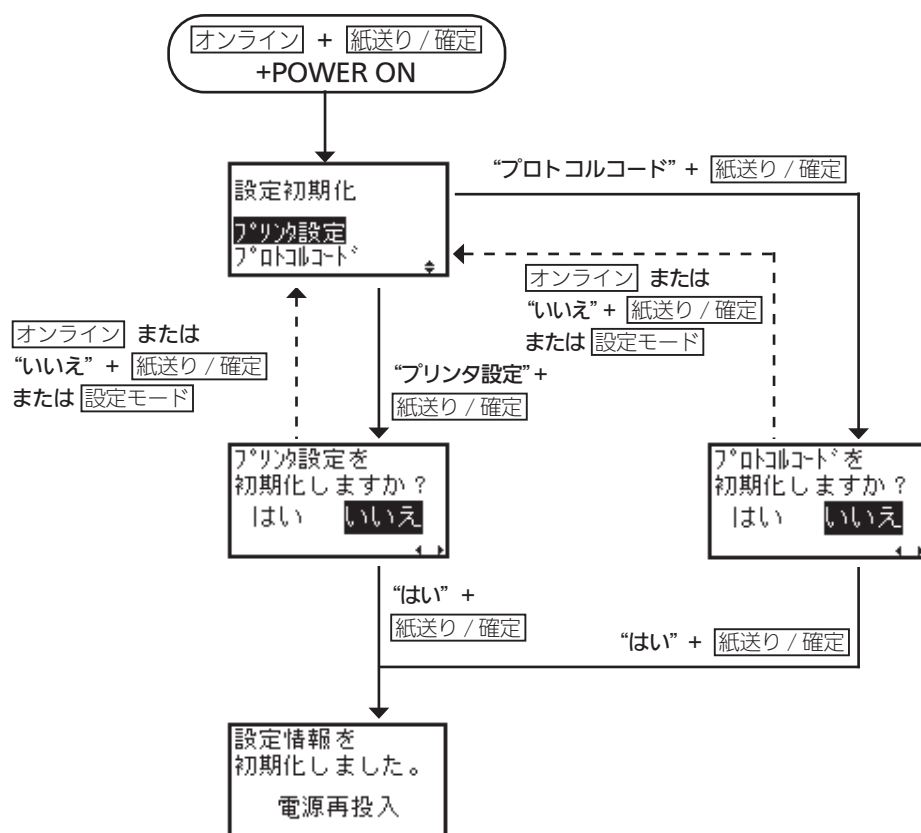






テスト印字モード



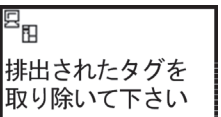


8. あれ？どうしたのかな？

本製品がエラー状態になったとき、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合、どうしたらよいかを説明します。また、本製品の操作をしてうまくいかなかったときも、この章をお読みください。

警告メッセージ

リボンの残量が少なくなったなどユーザーの処置が必要な場合、ディスプレイに警告メッセージを表示します。警告メッセージが表示されてもプリンタは印字を続行します。

ディスプレイ表示	LED	原因	処置
	オンライン：点灯 エラー：消灯	リボンの残量が少なくなりました。	このまま使用し続けても構いません。 印字途中で“エラー09 リボンがなくなりました”を表示した場合はリボンを交換してください。
	オンライン：点滅 エラー：消灯	受信バッファの空き容量が少なくなりました。	印字またはデータをキャンセルして受信バッファの空き容量を増やしてください。
	オンライン：点灯 エラー：消灯	印字データ中に不正なコマンドを検出しました。	データを確認します。
		印字データが印字領域を越えました。	印字領域を越えないよう印字データおよび基点補正値を調整します。
	オンライン：点灯 エラー：消灯	サーマルヘッドの断線を検出しました。	サーマルヘッドの交換が必要です。 販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
	オンライン：消灯 エラー：消灯	SBPLの<#>コマンドにより、基準位置が変更されました。 ※本警告は拡張機能の「基準位置移動後の発行動作」が「停止」に設定され、用紙種類がタグでカットONのときのみ表示されます。	排出されたタグを取り除いて、 オンライン キーを押してください。 または、基準位置移動後の発行動作設定を“継続”にしてください。

エラーメッセージ

ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラーLEDを点灯/点滅し、印字動作を停止します。エラーメッセージが表示された場合、どうしたらよいか説明します。

ディスプレイ表示	LED	原因	処置
 マシンエラー	オンライン：消灯 エラー：点灯	基板の不良です。	電源をON/OFFしてください。再発するようでしたら基板の交換が必要です。販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
 FLASHROM エラー	オンライン：消灯 エラー：点灯	フラッシュROMにアクセスできません。 書き込み回数をオーバーしました。	電源をON/OFFしてください。再発するようでしたら基板の交換が必要です。販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
 通信条件を確認してください	オンライン：点滅 エラー：点灯	通信条件が合っていません。(パリティエラー)	通信条件を合わせます。
		ケーブルの接続が合っていません。	ケーブルを正しく接続します。
 通信条件を確認してください	オンライン：点滅 エラー：点灯	通信条件が合っていません。(オーバーランエラー)	通信条件を合わせます。
		ケーブルの接続が合っていません。	ケーブルを正しく接続します。
 通信条件を確認してください	オンライン：点滅 エラー：点灯	通信条件が合っていません。(フレーミングエラー)	通信条件を合わせます。
		ケーブルの接続が合っていません。	ケーブルを正しく接続します。
 送信データが多すぎます	オンライン：点滅 エラー：点灯	受信バッファ容量を超えるデータを受信しました。	受信バッファを超えないようコンピュータのプログラムを修正します。
		通信プロトコルが合っていません。	コンピュータのプログラムを通信プロトコルに合わせます。
 ヘッドが開いています	オンライン：消灯 エラー：点滅	サーマルヘッド部がロックされていません。	サーマルヘッド部をロックします。
		ヘッドオープンセンサの異常です。	販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
 用紙がなくなりました	オンライン：消灯 エラー：点滅	用紙がありません。	用紙を正しくセットします。
		用紙が正しくセットされていません。	
 用紙がありません センサエラー	オンライン：消灯 エラー：点滅	電源投入時に用紙がセットされていません。	用紙を正しくセットします。(本エラー表示中に「用紙選択」キーを押すことで用紙種類を変更することが可能です。)

ディスプレイ表示	LED	原因	処置
 リボンが なくなりました	オンライン：消灯 エラー：点滅	リボンがありません。	リボンを正しくセットします。
		リボンが切れています。	リボン搬送ルートを清掃・調整します。
 用紙を正しく セットして下さい	オンライン：消灯 エラー：点灯	用紙長検出センサのレベルが合っていません。	販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
		用紙種類が合っていません。	用紙種類を合わせます。
		用紙が蛇行しています。	用紙搬送ルートを清掃・調整します。
 ヘッドが 断線しています	オンライン：消灯 エラー：点灯	サーマルヘッドが断線しています。	サーマルヘッドの交換が必要です。販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
 メモリにアクセス できません	オンライン：消灯 エラー：点滅	書き込みに失敗しました。	電源をON/OFFしてください。再発するようでしたら基板の交換が必要です。販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
 メモリの空き容量 がありません	オンライン：消灯 エラー：点滅	メモリの容量が不足しています。	メモリの不要なデータを削除します。
 ダウンロードデータが 不正です	オンライン：消灯 エラー：点灯	不正なダウンロードデータを受信しました。	ダウンロードデータを確認します。
		ダウンロード領域がありません。	ダウンロードデータサイズを確認します。
 用紙が 切れませんでした	オンライン：消灯 エラー：点滅	カッタ部で用紙がつまりました。	カッタ部の清掃をします。再発するようでしたらカッタ部のベルトの調整が必要です。
		カッタ部のスリットが正しく動作していません。	販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
		カッタ入口部が開いています。	カッタ入口部を閉じます。
 カッタセンサを 確認してください	オンライン：消灯 エラー：点滅	カッタのセンサ位置が合っていません。	カッタセンサの位置を合わせます。または指定したサイズの内紙をセットします。 ※本画面で 排出カッタ キーを押すと一度カッタ動作をおこないます。その後タグを取り出して再セットしてください。
		カッタ入口部が開いています。	カッタ入口部を閉じます。
 BCCが 一致していません	オンライン：消灯 エラー：点滅	受信データ（1アイテム分）に付加されたBCCが異なります。	送信データおよび通信設定を確認します。

ディスプレイ表示	LED	原因	処置
 アイテム番号が 異なります	オンライン：消灯 エラー：点滅	印字データ（1アイテム分） のシーケンス番号が前に印字 したデータのシーケンス番 号+1ではありません。	送信データおよび通信設定を確認 します。
 スタッカ/巻取機 が一杯です	オンライン：消灯 エラー：点滅	スタッカ/巻取機がいっぱい になっています。	スタッカ/巻取機から用紙を取り除 きます。 用紙おさえの位置を確認してくだ さい。
 不正な漢字データ を読み込みました	オンライン：消灯 エラー：点滅	漢字ROMより不正な漢字 データが読み込まれました。	販売店、ディーラーまたはお客さま ヘルプデスクにお問い合わせください。
 リボンコアがロックエラ	オンライン：消灯 エラー：点滅	リボン巻取部がロックされて いません。	リボン巻取部をロックします。 再発するようでしたらリボンコア センサの調整・交換が必要です。 販売店、ディーラーまたはお客さま ヘルプデスクにお問い合わせくだ さい。
 用紙が違います XXXXX L000-W000	オンライン：消灯 エラー：点滅	用紙サイズが指定したサイズ と合っていません。	指定したサイズ of 用紙をセットし ます。
		用紙種類が指定したものと異 なります。	指定した用紙種類をセットしま す。
 データが不正です Caaa:<bb>:cc	オンライン：消灯 エラー：点滅	印字データ中に不正なコマン ドまたはパラメータを検出し ました。 Caaa：エラー発生位置 <bb>：エラーコマンド名 cc：エラー種別コード	印字データを確認します。 送信したSBPLコマンドを確認し てください。エラー解除できない ときは、販売店、ディーラー、ま たはお客さまヘルプデスクにお問 い合わせください。
 リッドラッチが 開いています	オンライン：消灯 エラー：点滅	リッドラッチがロックされて いません。	リッドラッチをロックします。再 発するようでしたらラッチオーブ ンセンサの調整・交換が必要で す。販売店、ディーラー、または お客さまヘルプデスクにお問 い合わせください。
 用紙が 詰まりました	オンライン：消灯 エラー：点灯	用紙が詰まっています。	サーマルヘッドとリッドラッチの 両方を開けて詰まった用紙を取り 除いたあとに、自動給紙を行って ください。再発するようでしたら カットセンサの位置を合わせたあ とに、サーマルヘッドとリッドラ ッチの両方を開閉してください。

こんなときは？

本製品の操作をしてもうまくいかなかったときは、次のことを確認してください。

オンライン LED が緑で点滅している

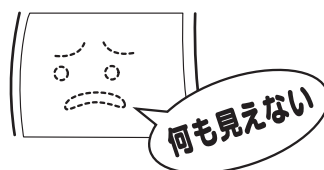
- 受信データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。
→ このまま使用して構いません。プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

発行途中でブザー音がした

- コマンド記述の誤りまたは印字領域指定が誤っています。
→ プログラムを見直してください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない

- 電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？
→ 電源コードをコンセントにしっかりと差し込み直します。
- 本製品に電源コードがしっかりと差し込まれていますか？
→ 電源コードを本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
- 電源コードがいたんでいませんか？
→ 電源コードを取り替えてください。
新しい電源コードは、本製品を購入された販売店、ディーラーで必ず本製品専用の電源コードをお求めください。本製品専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
- 本製品の電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？
→ 電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。



⚠ 注意

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

紙送りはするが印字しない

- サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？

→ サーマルヘッドが汚れていたら、プリンタ清掃シートで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。

※ 金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります）。

このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、「お手入れのしかた」をご覧ください、プリンタ清掃シートでふき取ってください。

- 本製品用の用紙・リボンを使っていますか？

→ 弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。

- ペーパーフィードローラーが汚れていませんか？

→ ペーパーフィードローラーが汚れていたら、「お手入れのしかた」をご覧ください、プリンタクリーニングキット*で汚れをふき取ってください。

- コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？

→ コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

* プリンタクリーニングキットはオプションです。ご購入の際は販売店、またはお客さまヘルプデスクへお問い合わせください。



清掃は、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

きれいに印字しない

- 用紙・リボンが正しくセットされていますか？

→ 用紙・リボンがきちんと固定されているか調べてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・リボンが正常な位置にあるか調べてください。

- 印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？

→ 設定操作で印字濃度を設定し直してください。

- プラテンローラーが汚れていませんか？

→ プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングキット*で汚れをふき取ってください。

- サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？

→ サーマルヘッドが汚れていたら、プリンタ清掃シートで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。

※金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります）。

このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、「お手入れのしかた」をご覧ください、プリンタ清掃シートでふき取ってください。

- 汚れた用紙を使っていませんか？

→きれいな用紙を使ってください。

- 本製品用の用紙・リボンを使っていますか？

→ 弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。

* プリンタクリーニングキットはオプションです。ご購入の際は販売店、またはお客さまヘルプデスクへお問い合わせください。



清掃は、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

印字位置がずれる

- 用紙・リボンが正しくセットされていますか？

→ 用紙・リボンをきちんと固定してください。

また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・リボンが正常な位置にあるようにセットし直してください。

- プラテンローラーが汚れていませんか？

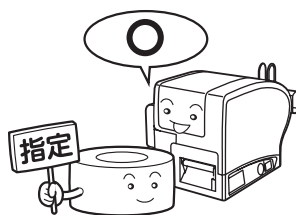
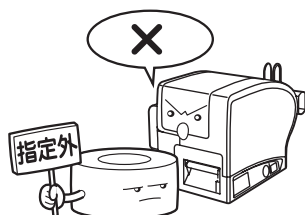
→ プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングキット*で汚れをふき取ってください。

- 型くずれした用紙・リボンを使っていませんか？

→ 用紙・リボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙・リボンを使ってください。

- 本製品用の用紙・リボンを使っていますか？

→ 弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。



- ペーパーフィードローラーが汚れていませんか？

→ ペーパーフィードローラーが汚れていたら、「お手入れのしかた」をご覧ください、プリンタクリーニングキット*で汚れをふき取ってください。

- コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？

→ コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

- 基点補正または、プロポーションナルピッチの内容がおかしくありませんか？

→ 基点補正または、プロポーションナルピッチの内容を設定し直してください。

* プリンタクリーニングキットはオプションです。ご購入の際は販売店、またはお客さまヘルプデスクへお問い合わせください。

⚠ 注意

清掃は、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

9. お手入れ

本製品は大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字がきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。プリンタ清掃シート、プリンタクリーニングキット*を使って定期的に清掃してください。

お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次のとおりです。

プリンタクリーニングキット*でのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラー、ペーパーフィードローラー、リボンフィードローラー、排出ローラー、ペーパーガイド、カッタ入口部
用紙 1 巻おき、あるいは用紙 150 メートル印字ごと
- その他
用紙 6 巻おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

お手入れのときの注意

お手入れのときは、次のことに注意してください。

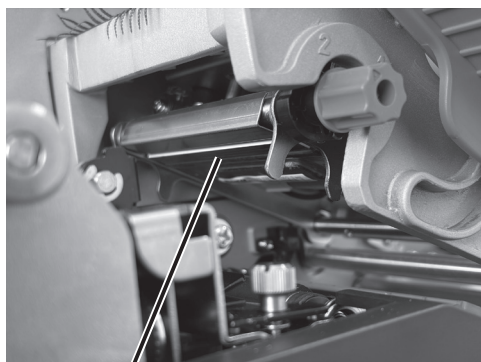
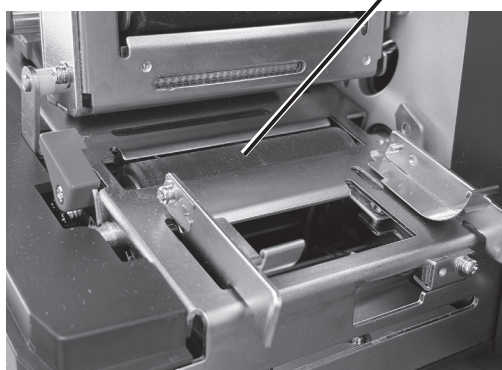
- 上記の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって清掃してください。
- 各部の清掃には、プリンタ清掃シートや綿布をご使用ください。
- ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってから清掃してください。
- 用紙・リボンは取り外してから清掃してください。

* プリンタクリーニングキットはオプションです。ご購入の際は販売店、またはお客さまヘルプデスクへお問い合わせください。

お手入れのしかた

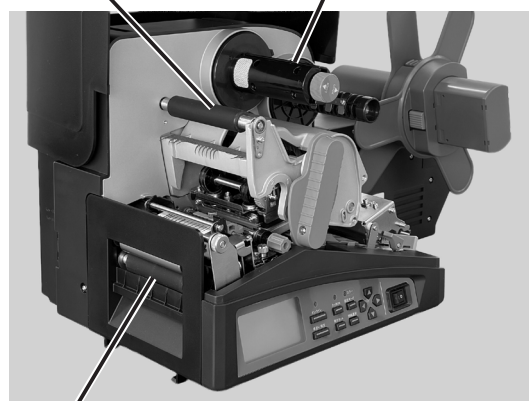
プリンタクリーニングキット*やプリンタ清掃シートなどを使って、次の箇所を清掃してください。

ペーパーフィードローラー



サーマルヘッド

リボンフィードローラー リボン巻取リール



排出ローラー

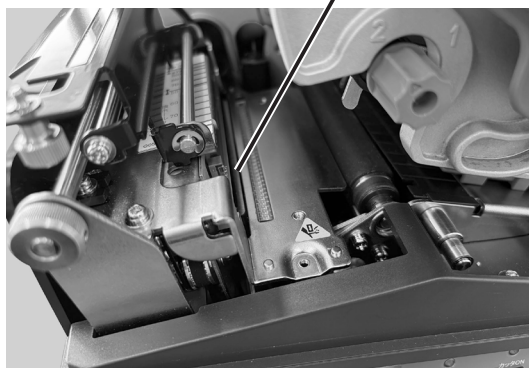
プラテンローラー

ペーパーガイド



つまみネジ

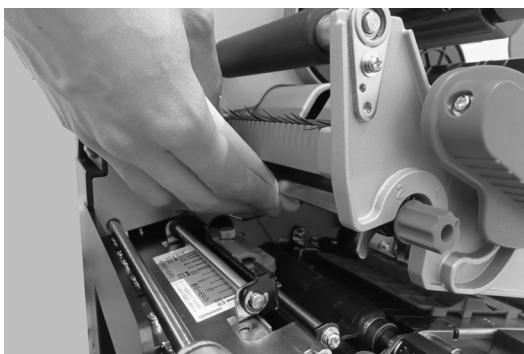
カッタ入口部



* プリンタクリーニングキットはオプションです。ご購入の際は販売店、またはお客様ヘルプデスクへお問い合わせください。

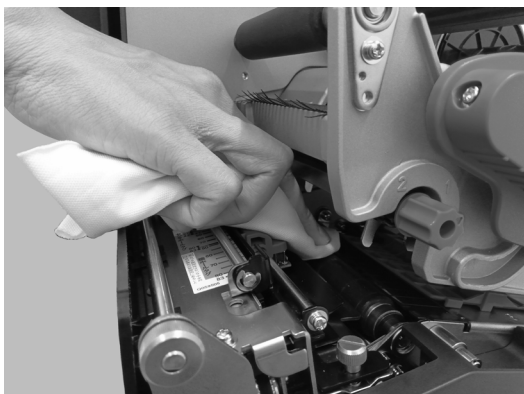
① カバー、サーマルヘッド部を開け、ヘッド部分を見るようにします。

② プリントクリーニングキットやプリンタ
清掃シートでサーマルヘッドの汚れを拭
き取ります。



③ プリント清掃液を綿布に浸して、プラテ
ンローラーの汚れを拭き取ります。

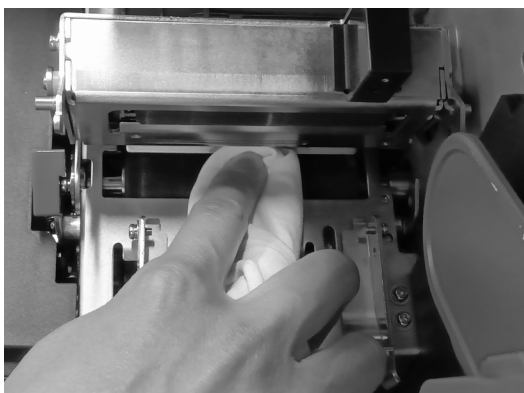
ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃
します。



④ リッドラッチを開けます。

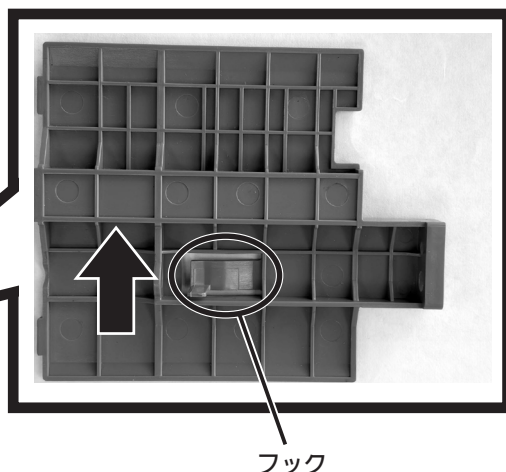
⑤ プリント清掃液を綿布に浸して、ペーパ
ーフィードローラーの汚れを拭き取ります。

ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃
します。



⑥ ペーパーガイドのフックを引っ張りペーパーガイドを引き出します。

⑦ プリンタ清掃液を綿布に浸して、ペーパーガイドの汚れを拭き取ります。



⑧ プリンタ清掃液を綿布に浸して、排出ローラーの汚れを拭き取ります。

ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。



⑨ プリンタ清掃液を綿布に浸して、リボンフィードローラーとリボン巻取リールの汚れを拭き取ります。

ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。



カッタ入口部については下記の手順で清掃してください。

- ① カッタ入口部を開けるために、ヘッドオープンにします。

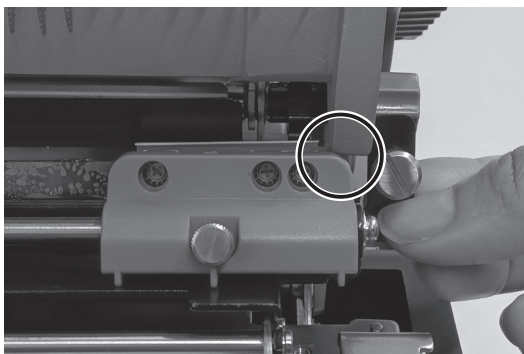
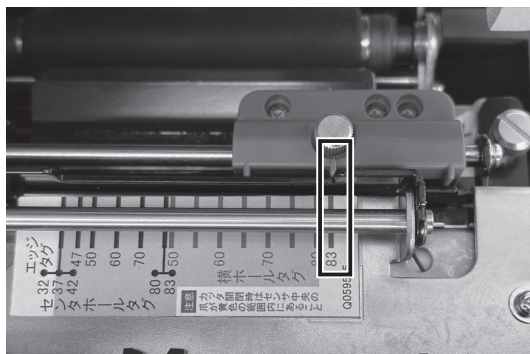
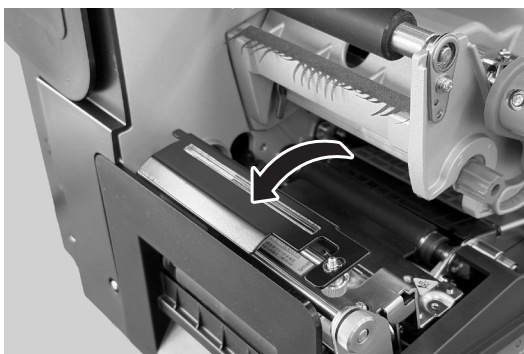


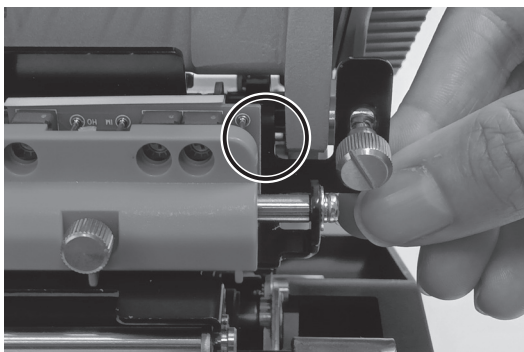
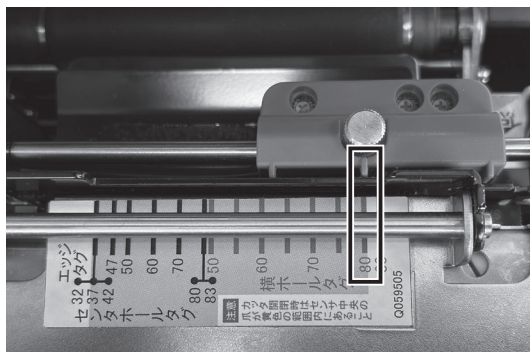
- ② つまみネジを緩めます。



- ③ 通紙部を回転させて開きます。

この時、カッタセンサの「横ホールタグ」が83mmにセットされていると通紙部を開く際にカッタセンサがヘッドフレームに干渉してしまいますので、必ず80mm以下にしてから開いてください。





- ④ プリントクリーニングキットでカッタ入口部の汚れを拭き取ります。



- ⑤ 通紙部の上側も清掃してください。



⚠ 注意

清掃後、カッタの開閉部を閉める際は以下の点にご注意ください。

- 清掃後は、忘れずにつまみネジを締めてください。
- 閉める時に指を挟まないようにご注意ください。

消耗品

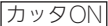
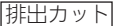
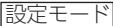
消耗品には次の3種類があります。

- サーマルヘッド
- プラテンローラー
- カッタ部

消耗品の交換は購入された販売店、ディーラー、またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

10. 基本仕様

モデル名	ST308R Plus	ST312R Plus
印字方式	感熱方式／熱転写方式 兼用	
ヘッド密度（解像度）	8dot/mm (203dpi)	12dot/mm (305dpi)
印字有効エリア	最大 長さ240mm x 幅80mm	
印字速度	50～250mm/秒 2～10インチ/秒 注）ただし、印字レイアウト、用紙、リボンの種類によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域	ラベル 長さ方向 上：1.5mm、下：1.5mm（台紙含まず） 幅方向 左：1.5mm、右：1.5mm（台紙含まず） タグ 長さ方向 上：1.0mm、下：1.5mm 幅方向 左：1.5mm、右：1.5mm ホール 周辺1.5mm	
用紙種類／用紙形態	弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。/ロール紙	
用紙厚	ラベル：140～265 μ m (0.14～0.265mm) タグ：157～330 μ m (0.157～0.33mm)	
用紙サイズ	連続発行 ラベル 長さ：16～237mm (19～240mm) 幅：22～80mm (25～83mm) タグ 長さ：25～240mm 幅：32～83mm カット ラベル 長さ：22～237mm (25～240mm) 幅：22～80mm (25～83mm) タグ 長さ：25～240mm 幅：32～83mm ※（ ）は台紙サイズ 注）発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。	
用紙外径／支管サイズ	用紙外径：最大250mm（4インチ支管時） 支管内径：76.4mm（3インチ）、102mm（4インチ）	
リボン種類	弊社指定のサプライ製品のご使用をお願いします。	
リボンサイズ／リボン形態／リボン巻方向	リボン長： 最大450m巻 き リボン幅： 最大84mm 巻き方向： 表巻き（標準）、裏巻き 巻取り方式： 支管レス（標準）	
発行モード	連続、カット	
寸法／重量	幅284mmx奥行552mmx高さ300mm/約16.2kg	

モデル名	ST308R Plus	ST312R Plus
電源仕様	入力電圧：AC100V～240V± 10%	
	消費電力（入力電圧条件：100V/50Hz） ピーク時：132W /134VA（印字率30%） 待機時：20W /22VA	
環境条件（温度／湿度）	使用温度：5～40℃ 湿度：30～80%RH（ただし、結露なきこと） 保存温度：-5～60℃ 湿度：30～90%RH（ただし、結露なきこと） ※ サプライ製品は除く	
インタフェース	1. 通信インタフェース（1スロット） 2. EXT（オプション機器用）コネクタ *1 3. RS-232C D-SUB9ピンタイプ（簡易入力装置Key-Bo、SOS+BOX接続用）	
通信インタフェース ボード（オプション）	1. USBインタフェースボード 2. RS-232Cインタフェースボード 3. パラレル（IEEE1284）インタフェースボード 4. LANインタフェースボード	
オプション	1. 大型スタッカ（STS300 Plus） 2. 小型スタッカ（STS302 Plus） 3. ラベル巻取機（RWS300） 4. 簡易入力装置Key-Bo 5. SOS+BOX	
操作キー	LCD：グラフィックLCD（横12 8 x 縦64dot）サイドライト付き キー：1.  2.  3.  4.  5.  6.      7. 方向キー： 8. 	
レベル調整	1. 印字位置調整 2. カット位置調整 3. 印字濃度調整	
用紙長検出センサ	1. アイマークセンサ（反射タイプ） 2. ギャップセンサ（センタホールセンサ兼用）（透過タイプ） 3. 横ホールセンサ 4. エッジセンサ 5. ジャンプホールセンサ	

*1 スタッカ接続、ラベル巻取機接続

モデル名	ST308R Plus	ST312R Plus
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128(UCC/EAN128)、CODABAR(NW-7)、 SATOC CODABAR(NW-7)、短縮CODABAR(NW-7)、ITF、 インダストリアル2of5、マトリックス2of5、 カスタマバーコード、UPCアドオンコード、 GS1 DataBar Omnidirectional、 GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、 GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked ※ GS1 DataBarは、RSSのことです。	
2次元コード	QRコード、マイクロQR、PDF417、マイクロPDF、MAXIコード、 データマトリックス（ECC200）、GS1データマトリックス	
合成シンボル	EAN-13 Composite EAN-8 Composite UPC-A Composite UPC-E Composite GS1 DataBar Composite GS1 DataBar Truncated Composite GS1 DataBar Stacked Composite GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite GS1 DataBar Limited Composite GS1 DataBar Expanded Composite GS1-128 Composite ※ GS1 DataBarは、RSSのことです。 ※ GS1-128は、UCC/EAN128のことです。	

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

モデル名			ST308R Plus	ST312R Plus
標準 搭載 フォント	ビット マップ フォント	WB文字	18x30dot（英数字、記号、カナ）	
		WL文字	28x52dot（英数字、記号、カナ）	
		X1文字	20x50dot（英数字、記号、カナ）	30x75dot（英数字、記号、カナ）
		X2文字	8x12dot（英数字、記号、カナ）	12x30dot（英数字、記号、カナ）
		X3文字	13x21dot（英数字、記号、カナ）	20x32dot（英数字、記号、カナ）
		X70文字	32x48dot（数字、“\$ ¥ー,”）斜体	
		X71文字	40x60dot（数字、“\$ ¥ー,”）斜体	
		X72文字	48x72dot（数字、“\$ ¥ー,”）斜体	
		X73文字	64x96dot（数字、“\$ ¥ー,”）斜体	
		X74文字	32x48dot（数字、“\$ ¥ー,”）標準	
		X75文字	40x60dot（数字、“\$ ¥ー,”）標準	
		X76文字	48x72dot（数字、“\$ ¥ー,”）標準	
		X77文字	64x96dot（数字、“\$ ¥ー,”）標準	
		OCR-A文字	15x22dot（英数字、記号）	22x33dot（英数字、記号）
		OCR-B文字	20x24dot（英数字、記号）	30x36dot（英数字、記号）
	漢字	16x16dot（JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体/明朝体選択可） 24x24dot（JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体/明朝体選択可） ※日本語（JISX208準拠）		
	ラスタライザ フォント		CG Times（英数字、記号） CG Triumvirate（英数字、記号） ゴシック（HG Gothic） 明朝（HG Mincho）	
	アウトライン フォント		英数字、記号、カナ、漢字	
印字方向 （文字・バーコード）			文字：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル1（0°）、パラレル2（180°）、 シリアル1（90°）、シリアル2（270°）	
バーコード比率			1:2、1:3、2:5、任意指定可能	
拡大倍率 （文字・バーコード）			文字：縦1～12倍、横1～12倍 バーコード：1～12倍	

モデル名	ST308R Plus	ST312R Plus												
搭載機能	1. ステータス返送機能 2. グラフィック機能 3. 連番機能 4. フォームオーバーレイ機能 5. 外字登録機能 6. 白黒反転機能 7. 罫線機能 8. フォーマット登録機能 9. ゼロスラッシュ切替機能 10. JIS/シフトJIS切替機能 11. 仕分けマーク機能 12. 自動給紙機能（用紙無駄なし機能） 13. 排出カット機能 14. アイテムカット機能													
	自動給紙機能について 自動給紙をおこなうことにより、先頭のタグ/ラベルを無駄にすることなくヘッド位置まで搬送し、印字することができます。 自動給紙により用紙無駄なし機能が可能なタグ/ラベル最大用紙長さ（台紙を含む）を下記に示します。 下記サイズは、各用紙種類の初期値でご使用いただく場合の最大用紙長さです。 下記サイズ以上の場合や印字位置補正をおこなった場合、自動給紙は可能ですが、先頭に位置合わせ用のタグ/ラベルが排出されます。													
	<table><tr><th>用紙種類</th><th>最大用紙長さ</th></tr><tr><td>センタホールタグ</td><td>140mm</td></tr><tr><td>アイマークタグ/ラベル</td><td>65mm</td></tr><tr><td>横ホールタグ</td><td>200mm</td></tr><tr><td>エッジタグ</td><td>65mm</td></tr><tr><td>ギャップラベル</td><td>70mm</td></tr></table>		用紙種類	最大用紙長さ	センタホールタグ	140mm	アイマークタグ/ラベル	65mm	横ホールタグ	200mm	エッジタグ	65mm	ギャップラベル	70mm
	用紙種類	最大用紙長さ												
	センタホールタグ	140mm												
アイマークタグ/ラベル	65mm													
横ホールタグ	200mm													
エッジタグ	65mm													
ギャップラベル	70mm													
自己診断機能	1. ヘッド断線チェック 2. ペーパーエンド検出 3. テスト印字 4. リボンエンド検出 5. リボンニアエンド検出 6. 漢字データチェック 7. ヘッドオープン 8. リッドラッチオープン 9. カッターエラー 10. スタックフル（スタッカオプション装着時） 11. 巻取フル（巻取機オプション装着時） 12. 用紙詰まりエラー													
	ノイズ規格													
	VCCI Class B													

11. 保証と保守

保守サポート

サトーではお客様に安心して製品をご利用いただくために、保守サポートを提供しています。

詳細は、以下のページをご覧ください。

<https://www.sato.co.jp/support/service/>

保証規定

本製品の保証については、弊社の規定により定められています。

詳細は、以下のページをご確認ください。

https://www.sato.co.jp/support/service/printer_support.html

製品保証期間における消耗部品の保証について

消耗部品となる下記部品は、弊社指定のサプライ製品をご使用の条件で、本体保証期間に関係なく下記の走行距離または納入から 6 か月間の早い方が無償修理対応期限となります。

- サーマルヘッド：30km
- プラテンローラー：30km
- カッター：50 万回

